


# Investors' Guide 2015

お客様にお約束します  
最高級のサービスと上質なホスピタリティで  
くつろぎと癒やしの時間を

**RITG**

リゾートトラスト株式会社  
インベスターズガイド 2015 (日本語版)  
証券コード: 4681



# 会員制リゾートクラブ業界を リードし続けるリゾートトラスト さらなる成長を求め新たなる市場へ

創業1973年、国内で会員制リゾートクラブ市場を40年以上にわたり牽引してきたリゾートトラストは、23年連続で会員制リゾートクラブ業界のシェアNo. 1を維持し、ゆるぎない業界トップの座を誇れる存在となりました。私たちが高収益事業を確立できたのは、追従を許さない独自のビジネスモデルの構築、ハイセンス・ハイクオリティへのこだわり、そして会員皆様一人ひとりの声を聞き、ホテルの開発や運営、サービス向上に活かし、徹底的に顧客満足を高めることで事業を成長させてきたからです。私たちが提供する最高のおもてなしを、昨今成長が著しい医療分野やシニアライフ事業へ、さらに複合・周辺事業及び海外へと展開し、さらなる成長を目指していきます。

リゾートトラストは独自の戦略で業界を牽引  
積み重ねてきた実績と築き上げた強みを活かし  
引き続き収益拡大を図っていきます

1. 約16万人: 強固な会員ネットワークが成長  
の原動力

2. 国内シェア70%以上、23年連続シェアNo. 1:  
革新し続けることでトップシェアを維持

出所: 第32回サービス業総合調査(日経MJ 2014/11/12)「会員制リゾートクラブ」上位  
9社の部門売上高(2013年度)よりシェアを算出

3. 健全な財務体質: 短期間での投資回収  
安定した運営収益を得るビジネスモデル

4. 検診サービスから始まったメディカル事業  
が急成長:  
グループシナジーでさらなる収益拡大へ

## 目次

特集 p 2

トップメッセージ

投資家の皆様へ p10

社長インタビュー p12

Next40(中期経営計画) p16

リゾートトラストの事業

事業領域と沿革 p18

事業概況 p20

施設紹介 p22

リゾートトラスト ネットワーク p24

CSR・経営体制

CSR活動 p26

コーポレート・ガバナンス p28

ファクトシート

財務データ p 30

営業データ p 34

連結財務諸表 p 36

連結子会社一覧 p40

会社情報・株式情報 p41

## 見通し及び数値に関する注意事項

このインベスターズガイドには、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込みです。また、経済動向、業界における競争の激化、個人消費、市場需要、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ実際の業績は、当社の見込みとは異なる可能性のあることをご承知おきください。



ザ・カハラ・ホテル&リゾート ロビー

## 特集1

# 約16万人：強固な会員ネットワークが成長の原動力

当社グループの会員数は優良顧客約16万人。国内会員制リゾートクラブ業界においてはトップシェアを誇り、当社グループの今後の成長にとっても非常に大切な要素となっています。

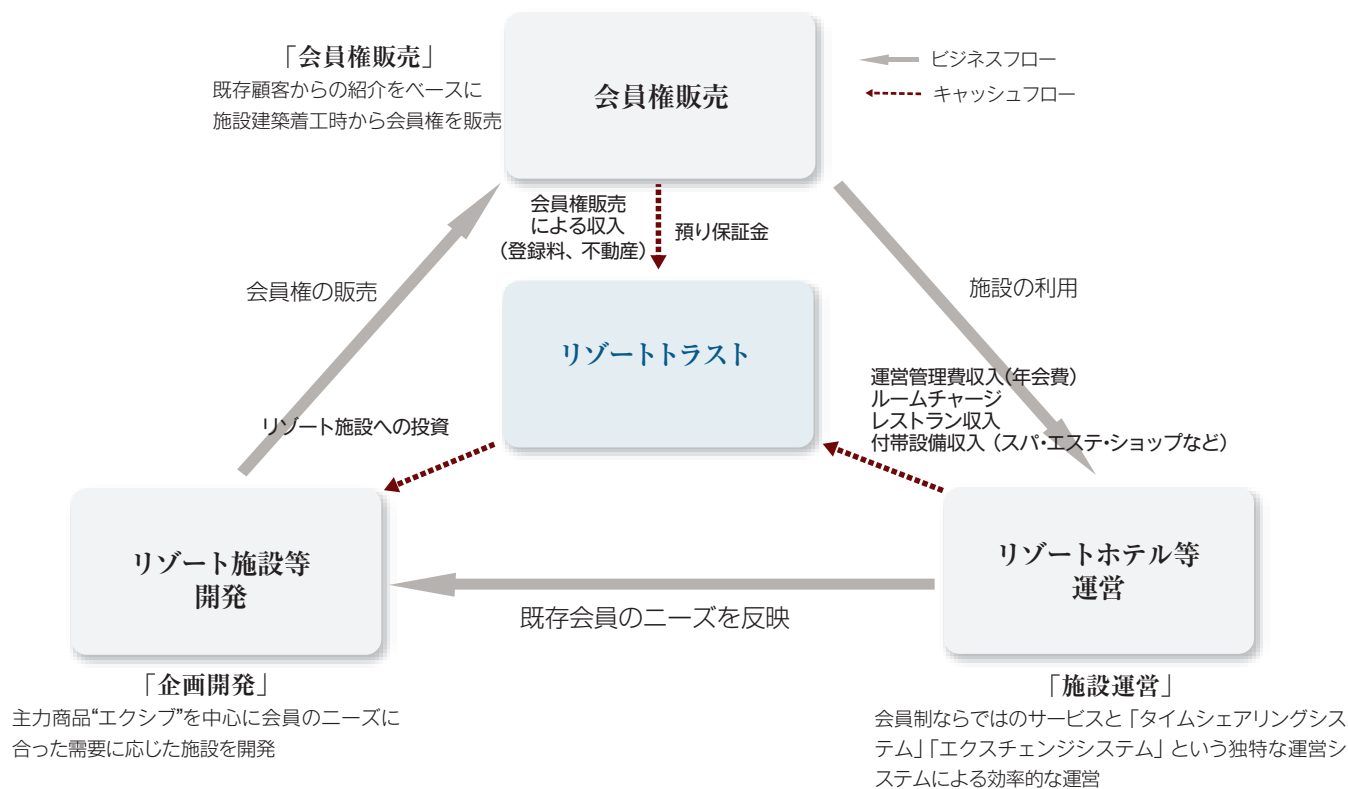
トップシェアを維持できるのは、営業力、開発力、運営力の3つを継続的に向上させることで、常に会員皆様にご満足いただき、同時に会員数を着実に積み上げてきたからです。

会員制ホテルを運営する上で培ってきたさまざまなノウハウを活かし、会員の皆様一人ひとりに担当者が付くきめ細かい高品質なサービスは、新規会員様の85%以上が既存会員様からの紹介という実績につながっています。既存会員様のネットワークを活かした会員様の継続的な増加という好循環を生み出しているのです。

また施設の数でも会員制で日本一を誇っています。京都や箱根などを代表とする国内有数の景勝地へいち早く立地し、ハイセンス・ハイクオリティを追求した施設開発を進めながら、メディカル事業への展開等、常に会員様の新たなニーズに応じていくことで成長してきました。さらに2014年10月に、米国ハワイ州の「ザ・カハラ・ホテル&リゾート」を取得し、既存の会員様へ新たな価値を提供するとともに、新規顧客層の開拓を推進することで、さらなる成長を目指します。

施設の運営については、会員様の満足度の最大化に向けて培ったノウハウに加え、会員制ホテルの特性として、事前に来客数を把握でき、適切な人員配置が可能となることにより、運営の効率化も実現しています。

### 基本的なビジネスフロー





エクシブ湯河原離宮 露天風呂 イメージ (2017年3月開業予定)

## 特集2

# 国内シェア70%以上、23年連続シェアNo. 1:

## 革新し続けることでトップシェアを維持

当社グループは、国内会員制リゾートクラブ業界でシェア70%以上を達成、23年連続でトップの座についています。当社は、余暇先進国といわれている欧米で主流のタイムシェアリングシステムを日本の富裕層向けにアレンジし、独自の所有・運営システムを作り上げたことで他社との差別化を図り、シェアを急速に伸ばしました。主力施設「エクシブ」は、14名ないし28名のオーナーが1室を共有します。1年365日を予め公平に占有日として割り当てることで、日本特有の祝日や連休、休前日などの集中日の利用も、その占有日においては確実に保証される年間カレンダーの仕組みを提供し、日本で初めて年間26泊/13泊の完全利用保証を実現しました。また当社が施設を運営することで、利用時の清掃や寝具、食事の準備などの負担も解決され、合理的で利便性

の高い仕組みとなっています。さらに、オーナー同士の占有日の交換システムなどにより、どなたにも満足いただけるシステムとなっています。

各施設はそれぞれ固有のコンセプトを持っています。2016年3月開業予定の「エクシブ鳥羽別邸」は、エクシブシリーズでは初となる純和風をコンセプトとし、2017年3月開業予定の「エクシブ湯河原離宮」は、日本古来の伝統様式「琳派」を現代的デザインに昇華した“琳派モダン”をコンセプトとしています。両施設ともに会員権を販売しておりますが、大変ご好評をいただいております。

会員皆様に心からご満足いただける最上の空間と上質なホスピタリティをご提供できるよう、私たちは、ハード・ソフトの両面から革新を図り、この実績を作り上げています。

### 独自のリゾートビジネス

タイムシェアリングシステム	<b>完全利用保証</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 共有型会員制システム</li><li>● ホテルの一室を14人/28人のメンバー(オーナー)で共有</li><li>● 1年間365日を14人/28人のメンバー数で分割した26泊/13泊の完全利用保証</li></ul>
エクスチェンジシステム	<b>交換も可能</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 会員間で利用予定のない占有日を交換できる</li><li>● 他施設のタイムシェアとの交換利用も可能</li></ul>
フローティングシステム	<b>1カ月前からは先着順</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 他の利用予定のない部屋を1カ月前より先着順で予約可能</li></ul>



エクシブ湯河原離宮 イタリア料理レストラン イメージ(2017年3月開業予定)



### 特集3

## 健全な財務体質：短期間での投資回収

### 安定した運営収益を得るビジネスモデル

ホテル会員権のビジネスモデルは、投資回収期間の短いことが大きなアドバンテージとなっています。会員権は、着工時から販売開始が可能であり、ホテル開業に先だって販売を開始します。既存会員様との密接な関係を保ち、その周囲の方々までも価値あるサービスを実際に体感いただけることが新規会員様からの購入につながっており、およそ半数の会員権が開業前に契約に至ります。そして、概ね5割程度の会員権を販売すれば全体の投資額は回収でき、多くの施設で開業までには投資を回収できるビジネスモデルを構築していることが、当社の特長です。

また運営面においても、分譲型会員制ホテルであるため、一般的なホテルと比べると減価償却費が少なく、税金などの負担が軽減されます。そして、ルームチャージなどの変動収入に加え、年会費や保証金償却収入による固定収入が得られることが、安定的な運営に大きく寄与しています。入会時にお預かりする預り保証金は、返還を要さない償却型保証金が過半を占めており、その償却収入は修繕費の原資となっています。そのため、保証金返還に伴う財務リスクも少なく、健全な財務体質を実現しています。

#### ホテル会員権の売上計上方法 ホテル会員権販売におけるキャッシュ・インと売上計上の時期(未開業物件の場合)

	契約	上棟	竣工	会計処理
販売合計額(100%)	販売額の60%受領	販売額の80%受領	販売額の100%受領	
預り保証金(約10%)	約10%を契約時に受領			契約時に負債計上
登録料(約40%)	約40%を契約時に受領			契約時に売上計上
不動産代金(約50%)	約10%を契約時に受領			開業時に売上計上
		約20%を上棟時に受領		
			約20%を竣工時に受領	

約5割の販売進捗で投下資金を回収

(例)会員権価格が1,000万円のケース

	契約	上棟	竣工	開業
預り保証金 100万円	100万円 <sup>*1</sup>			
登録料 400万円	400万円			
不動産代金 500万円	100万円 <sup>*2</sup>	200万円 <sup>*2</sup>	200万円 <sup>*2</sup>	
契約高合計 1,000万円	600万円	200万円	200万円	
売上計上額	400万円	—	—	500万円 <sup>*2</sup>

\*1 B/Sに負債計上され、開業後、償却してホテルレストラン等事業に売上計上。

\*2 不動産代金については、開業するまで繰り延べられ、開業時に売上計上。

売上原価 350万円  
年会費 13万円



ハイメディック東京ベイ画像センター 受付ロビー



ハイメディック名古屋 外観 イメージ(2016年夏頃開業予定)



ハイメディック京大病院 外観 イメージ(2016年春頃開業予定)



トラストグレス御影(シニア向けレジデンス) 外観



トラストガーデン常磐松(仮称) 外観 イメージ (2016年4月開業予定)



## 特集4

# 検診サービスから始まったメディカル事業が急成長： グループシナジーでさらなる収益拡大へ

当社グループのメディカル事業は、会員様の高齢化とともに高まる「健康で長生き」へのニーズに対し、「リゾート地で受ける痛みのほとんどない検診」をコンセプトに、医療とリゾートの融合を目指して、1994年の「ハイメディック山中湖」の開設とともにスタートしました。MRI、PET/CT等の先端医療機器を先駆けて検診に取り入れ、「山中湖方式」と世界から称される検診システムを確立し、検査実績は世界トップクラスを誇ります。

当社の会員制リゾートホテルの開発と運営で培ったハイセンス・ハイクオリティなサービスの提供を礎に、会員制の総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の開始により順調に会員数を伸ばし、現在の会員数は約13,000名に上ります。(2015年3月末時点)「ハイメディック山中湖」に続き、2005年に「ハイメディック大阪」を開業し、2006年には東京大学医学部附属病院との提携による「ハイメディック・東大病院」、さらには2013年に「ハイメディック・ミッドタウン」と順調に拠点数を伸ばしてきました。本年4月には日本で初となるPET/MRIや当倶楽部初となる乳房用PETを導入した検診拠点「ハイメディック東京ベイ画像センター」を開設し、本年秋頃には、「グランドハイメディック倶楽部」の5つ目のコースとなる「ハイメディック東京ベイ」が加わる予定です。さらに2016年の春頃には京都大学

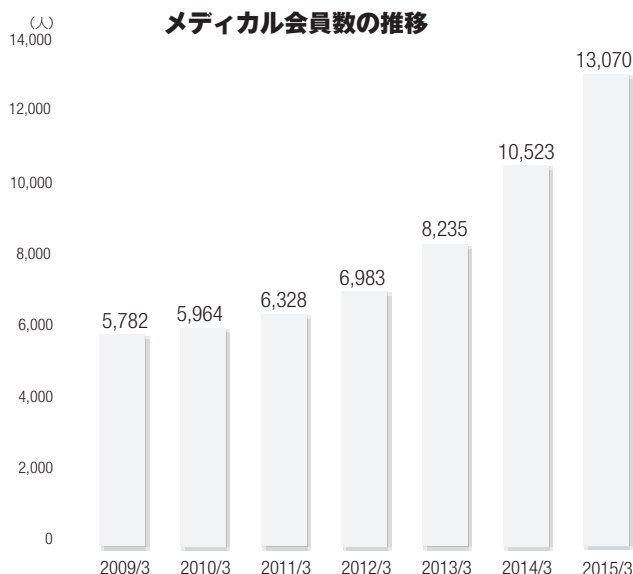
医学部附属病院のハイメディック棟内に「ハイメディック京大病院」を、同年夏頃には「ハイメディック名古屋」を開設することが決定しており、同事業基盤の増強を図っています。同事業は検診医療だけでなく、2007年に東京ミッドタウンメディカルセンターを開業し、一般向け医療サービス事業へも参入しました。全米ホスピタルランキング\*1で21年連続1位の実績を持つアメリカの医療機関「ジョンズ・ホプキンス・メディスン・インターナショナル」との国内で唯一の業務提携や、国際的な医療機能評価機関であるJCI\*2の認証(外来診療プログラム)取得(2015年1月31日取得)など、世界トップクラスの医療サービスを目指し、プライマリケアや美容・アンチエイジング、医師監修の化粧品やサプリメントの開発から在宅医療までの総合メディカルサービスを提供しております。

さらには、メディカル事業、ホテルレストラン事業のノウハウを活用し、有料老人ホームやシニアレジデンスの運営も行っています。2016年春には新たに「トラストガーデン<sup>ときわまつ</sup>常磐松」(仮称)が開設予定であり、当該施設50室を含め全国に13施設1,075室を展開します。

今後も当社ならではのシナジーを活かし、新商品の立案や事業間の連携を進め、約16万人の会員の皆様へ価値ある新しいサービス・商品を提供することで、当社グループの成長を収益につなげていきます。

\*1 U.S. News & World Report 誌公表

\*2 米国の医療施設を対象とした第三者機関 The Joint Commission の国際部門として1994年に設立された非営利団体 Joint Commission International の略称。国際社会における医療の安全性と質の改善を目的に、教育やコンサルティングサービスの提供ならびに国際的な認定・認証を行っている。



PET/MRI: 病変の機序を同時に評価できる診断能力の高い検査装置

## 前期に引き続き、売上・利益ともに過去最高を更新 新市場の開拓に挑戦し、さらなる成長を目指す



### 2015年3月期(当期)の事業概況

2014年度の世界経済は、米国で堅調な成長が継続する一方、欧州での景気悪化や中国をはじめ新興国における成長率の鈍化などがあり、不透明な状況が続きました。また日本経済は、4月に消費税率の引き上げが実施され、国内リゾート市場も需要の停滞が懸念されましたが、当社への影響は想定よりも小さく、ホテル及びメディカルそれぞれの会員権販売が好調に推移し、2期連続して過去最高の経営成績を収めることができました。

連結売上高は120,401百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益は16,041百万円(同5.6%増)、経常利益は20,206百万円(同20.1%増)、当期純利益は前年同期比35.7%増加し11,851百万円となりました。(当連結会計年度より、会計方針の変更を行っており、遡及処理後の数値で前年同期比較をしております。)経常利益では、米国ハワイ州の高級リゾートホテル「ザ・カハラ・ホテル&リゾート」の取得に伴う為替差益が営業外収益として計上されたことから、期初計画及び前年同期実績を大きく上回りました。

### 盤石な国内市場における実績を通して、海外市場に挑む

2年目を終えた中期経営計画「Next40」は順調に進行しております。創業40周年を迎えた2013年4月より、会員制リゾート事業のさらなる飛躍とメディカル事業の拡大を目指し当計画をスタートさせましたが、2015年3月期は施設の拡張という面で大きく進展させることができました。海外においては前述の通り、世界屈指のリゾート地であるハワイにおいて創立50年以上の伝統と圧倒的なブランド力を誇る「ザ・カハラ・ホテル&リゾート」を取得いたしました。国内では、浜名湖近隣や兵庫県芦屋市に新たなリゾートホテル用地を取得しました。また、日本の伝統美「琳派」を現代的なデザインに昇華した「琳派モダン」をコンセプトとする「エクシブ湯河原離宮」の会員権を2014年10月より販売開始し、現在順調に販売が進んでいます。





ザ・カハラ・ホテル&リゾート

メディカル事業では、「ホテルトラステイ東京ベイサイド」地下1階に、2015年4月「ハイメディック東京ベイ画像センター」を開業しました。さらに、京都大学医学部附属病院「ハイメディック棟」における研究支援を含めた「ハイメディック京大病院」の新設、「ハイメディック名古屋」の新設も決定し、ハイメディック拠点の拡充を図りました。また、2014年12月、中国の浙江国大集団有限責任会社と事業提携し、杭州市に合弁企業を設立しました。現地の方々向けに総合メディカルサポートクラブ会員権の販売や検診などを行い、中国におけるメディカル事業をスタートいたします。

今後も徹底した顧客志向、それに基づく当社グループ商品の競争力の向上を通して、2018年3月期の利益倍増という高い目標を達成できるよう努めてまいります。そしてさらなる成長に向け、今回取得した「ザ・カハラ・ホテル&リゾート」のような、海外の超高級ホテルの運営も視野に入れてまいります。また、日本政府の重要施策の一つである世界の観光客誘致への取り組みに伴い、海外観光客を対象とした展開も検討すべきテーマと考えております。国内市場が盤石となった今、これら新市場の開拓に挑戦し「次の40年」につながる強固な事業基盤を構築してまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後とも当社グループへのご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2015年6月

代表取締役会長 (CEO) 伊藤 與朗  
(写真左)

代表取締役社長 (COO) 伊藤 勝康  
(写真右)





## 海外市場へ参入 「Next40」2年目にして 目標達成への手応えを 感じています

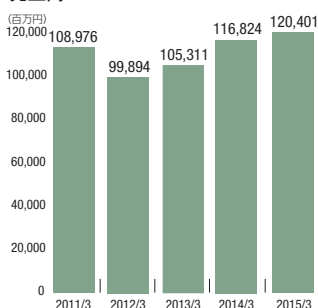
当期は中期経営計画「Next40」の2年目を終え、さまざまな事業が成果を上げ本計画ゴールへの手応えを感じています。海外での事業展開をスタートさせた中、引き続き人材を第一とし、グループ力を最大限に発揮できる価値創造に取り組んでいきます。

# Q1

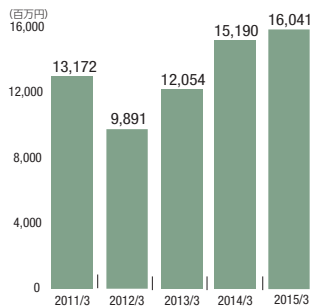
## 2015年3月期(当期)の業績を どう評価していますか。

当連結会計年度における日本経済は、消費税増税や円安に伴う物価上昇、天候不順等により個人消費の回復ペースは緩慢であったものの、企業業績・雇用情勢の改善などにより緩やかな回復基調が続きました。当期、当社グループにとって最も意義のある実績となったのは、米国ハワイ州の高級リゾートホテル「ザ・カハラ・ホテル&リゾート」の取得(2014年10月)で、ホテル事業において初の海外事業展開を果たしました。これに伴い、当該ホテルの取得関連費用がかかったほか、未開業ホテルの「エクシブ鳥羽別邸」や「エクシブ湯河原離宮」の会員権収益の一部が開業まで繰り延べられる一方で、当初想定していた、消費税増税前の駆け込み需要の反動による消費の落ち込みの影響は一定程度に収まりました。さらに、メディカル事業の拡大によりハイメディック会員やシニアレジデンスの入居者が増加したこと、営業外収益で為替差益を計上したことなどにより、前期に引き続き、売上・利益ともに過去最高を更新しました。

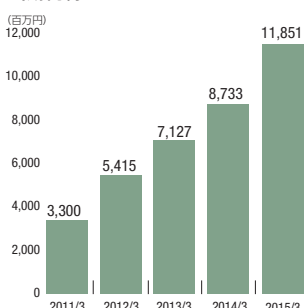
売上高



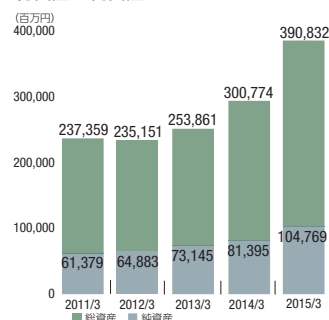
営業利益



当期純利益



総資産・純資産



## 経営理念

私たちリゾートトラストグループは  
新天地開拓を企業精神として

「信頼と挑戦」

「ハイセンス・ハイクオリティ」

「エクセレント・ホスピタリティ」を追求し  
お客様のしなやかな生き方に貢献します

### ホスピタリティ憲章 行動規範

Vision ビジョン 私たちが目指すべき姿	私たちは、ハイセンス・ハイクオリティを追求する、 エクセレント・ホスピタリティ・グループです。
Mission ミッション 私たちの使命	私たちは、人生を謳歌する しなやかな生き方に貢献します。
Ambition アンビション 私たちのモットー	私たちは、自らの人生を輝かせるために、 日々のお会いと感動を大切にします。
Value バリュー 私たちの価値観	私たちは、お客様や社会との信頼を基盤として、 常に挑戦しつづけます。

### 財務ハイライト(連結)

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
会計年度:					百万円
売上高	108,976	99,894	105,311	116,824	<b>120,401</b>
営業利益	13,172	9,891	12,054	15,190	<b>16,041</b>
経常利益	13,341	9,443	12,976	16,830	<b>20,206</b>
当期純利益	3,300	5,415	7,127	8,733	<b>11,851</b>
会計年度末:					百万円
総資産	237,359	235,151	253,861	300,774	<b>390,832</b>
純資産	61,379	64,883	73,145	81,395	<b>104,769</b>
1株当たり情報:					円
当期純利益 <sup>*1</sup>	35.68	57.97	75.38	89.71	<b>120.30</b>
潜在株式調整後当期純利益 <sup>*1</sup>	35.54	57.86	74.61	84.59	<b>108.69</b>
純資産 <sup>*2</sup>	585.92	628.19	686.85	758.35	<b>963.99</b>
配当金 <sup>*3</sup>	15.00	20.00	27.50	31.00	<b>43.00</b>
主な指標:					%
総資産当期純利益率 (ROA)	1.3	2.3	2.9	3.1	<b>3.4</b>
自己資本当期純利益率 (ROE)	6.1	9.5	11.4	12.4	<b>13.6</b>
配当性向	42.0	34.5	36.5	34.6	<b>35.7</b>

注)・各会計年度は3月31日で営業期間が終了した年を表記しております。

・記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表しております。

・1株当たり情報及び主な指標については、それぞれ小数点第3位、小数点第2位で四捨五入して表しております。

・2015年3月期より会計方針の変更を行っているため、2014年3月期については、遡及処理後の数値を記載しております。

・2014年1月1日をもって、当社株式を1株につき2株の割合で分割しております。

\*1 1株当たり当期純利益は、当該株式分割が各連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

\*2 1株当たり純資産は、当該株式分割が各連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

\*3 1株当たり配当金は、当該株式分割を考慮して遡及修正した数値を記載しております。

## Q2

「Next40」の進捗状況をお教えてください。

前期に続き多くの事業が成果を上げ、盤石の2年目とすることができました。2014年4月の組織改革により、会員権、ホテルレストラン、メディカルを中核事業と位置づけ、各々の本部長へ権限を委譲しました。自分たちの責任で自分たち自身で描く事業ビジョンのもと、各々が成長を確実なものとする意識が醸成された結果、当期は業績もさることながら、5ヵ年計画の基盤を構築でき、2018年3月期の利益倍増という高い目標への手応えを強く感じています。

また、「Next40」で計画したことを着実に実行できていることも、評価すべきと考えています。殊に海外事業では2014年10月、ハワイの「ザ・カハラ・ホテル&リゾート」を取得し、当社グループの成長加速に向けた布石となりました。当ホテルは、世界屈指のリゾート地であるハワイで創立50年以上の伝統を持ち、高いブランド力で世界に名をはせる高級リゾートホテルです。当社グループに加わることで、既存顧客へ新たな価値を提供できるとともに、新規顧客層の開拓など、今後の海外展開において重要な役割を果たしていくことを期待できます。国内では、浜名湖近隣及び兵庫県芦屋市に新たなリゾートホテル用地を取得し、今後新施設の開発を進める予定です。

また、メディカル事業も大変好調でした。当期は、「ハイメディック京大病院」「ハイメディック名古屋」及び「ハイメディック東京ベイ画像センター」の開設を決定しました（「ハイメディック東京ベイ画像センター」は、2015年4月開設）。「Next40」では2施設の開設を目標としていたので、既に開設した「ハイメディック・ミッドタウン」と合わせ計画を上回る施設展開とすることができております。会員制システムによる安定した施設稼働と会員様の健康へのニーズをいち早くつかむことで事業基盤を築き、さらに、リゾートホテルの開発と運営で培ったノウハウと顧客基盤を基に、各専門分野での最先端の取り組みと総合的なサポートによる差別化が、同事業の拡大につながりました。

シニアレジデンスについては、「トラストガーデン等々力」（2014年4月開設）、「トラストガーデン常磐松（仮称）」（2016年4月開設予定）はこれまで取得してきた施設とは違い、当社が一から開発を手掛けています。ホテルレストラン事業やメディカル事業の実績を活かすことで食事療法やリハビリテーションなど医療の充実を図り、入居者様のクオリティ・オブ・ライフを向上させる施設運営を目指しています。

## Q3

「Next40」を成功させ、さらなる成長を遂げるための課題は何でしょうか？

日本の人口動態統計では、数の上から市場の成長は望めません。そこで、会員様の多様なニーズに応じて市場を創出することが必要です。リゾートホテルは、これまで都市圏に住む人々を対象とした、1～2泊程度の近郊のリゾート開発を主としてきました。しかしながら昨今、会員様が北海道や沖縄、または海外での利用も希望されるようになり、長期滞在型のリゾート開発を検討しています。細かい需要分析によって商品を多様化していくことで、継続的な成長を目指していきます。また、2020年の東京オリンピック開催も控える中、年々増える海外観光客を対象とした施設の展開にも取り組んでいく予定です。

メディカル事業では、2014年12月、中国の浙江国大集団有限責任会社と事業提携し、会員制総合メディカルサポートクラブと検診センターの開設を進めています。現在中国では、検診への関心が高まっていますが、特に富裕層を対象とした健康を総合的にサポートする検診サービスが普及していません。そこで、日本国内で実績を積んだ会員制総合メディカル事業の経営ノウハウを活かして中国の需要に応えることで、一層の成長を図る考えです。

海外市場開拓に際し最も大切なことは、リゾートトラストのブランドを維持することです。ハイセンス・ハイクオリティを追求したハードとソフトの両面から高品質・最高級のサービスを提供することで、新規の会員様にも信頼いただけ、確固たるブランドとして認知していただけることに努めていきます。

そして、この成長戦略を支えてくれるのが人材です。当社グループが重点課題としていることが、働きがいのある職場の創出です。同じ志を持つ仲間とともに楽しく仕事ができる環境をつくっていくことが、人材育成の要素であると考えています。自分で考え工夫し仕事を楽しみながら、



社会のルール（コンプライアンス）をきちんと守り、ハイレベルなホスピタリティを提供できる人材育成を目指しています。私たちのこの精神は、当社グループの姿勢そのものでもあり、これが会員様からの信頼につながっているのです。

## Q4

2016年3月期(次期)の見通しはいかがでしょうか？

2016年3月期には、施設のオープンや新たな開発を予定していますので、会員数の増加は順調であると見込んでいます。リーマンショックや東日本大震災の影響で開発計画を遅らせたので、新規オープンを重ねていくことでこれを取り戻し、業績の安定拡大を図りたいと思います。また今後はハワイに続き、東南アジア、オーストラリアなど海外での拠点数を増やし、新たな顧客層を得ることで、成長を加速させていきます。

業績見通しについては、「エクシブ鳥羽別邸」の開業に伴い、年度末での開業のため年会費や保証金償却収入の増加は見込めないものの、繰り延べられてきた不動産収益が一括計上されます。そして「エクシブ湯河原離宮」の会員権販売に加え、「芦屋ベイコート倶楽部」など関西地区での会員制ホテルの開発着工及び会員権販売を予定しています。また、「ザ・カハラ・ホテル&リゾート」の通期稼働、検診施設の増強やシニアライフ事業の拡大が見込まれることなどから、当社グループ全体として、売上高144,600百万円(前年同期比20.1%増)、営業利益17,500百万円(同9.1%増)、経常利益18,300百万円(同9.4%減)、当期純利益12,800百万円(同8.0%増)を見込んでいます。

## Q5

CSRについての考えを聞かせてください。

自然環境との共存を図りながらの施設開発が、リゾート産業に携わる私たちの使命です。今後も、自然環境の維持・保全に努めることを基本といたします。

2015年3月、当社は経済産業省主催の「平成26年度ダイバーシティ経営企業100選」に選定されました。障がい者が適切な仕事に就けるサポート体制を構築する中、経営理念である「エクセレント・ホスピタリティ・グループ」の実現に向け、健常者と障がい者がともに取り組む姿勢を評価していただきました。今後も、障がい者や女性など多様な人材が活躍できる企業を目指し、また海外進出に伴う外国籍社員の増加も視野に入れ、ダイバーシティ経営を推進していきます。

2015年6月、「コーポレートガバナンス・コード」が施行されました。今回策定されたコードは、企業の競争力・収益力を強化し、日本経済の成長を図るという「攻め」の経営を後押しするもので、今後当社グループが海外展開を促進する上でも、ガバナンスの強化は不可欠です。環境活動・社会活動とともに、内部管理体制の充実を図ることで、業界のリーディングカンパニーにふさわしい社会的責任を果たしていく所存です。

投資家の皆様へメッセージをお願いします。

会員権、ホテルレストラン、メディカルの3つの事業で確実に収益を上げる基盤が構築されたので、安定収益となるようこれらをより盤石にいたします。また、海外事業を加速させ、新商品の開発により、持続的成長を実現してまいります。

株主様への還元については、早期回収ビジネスモデルによる潤沢な資金力を背景に、配当性向30%を確約し、さらに40%を目指し、安定的に還元することとてまいります。

事業運営にあたってはこれまでと同様、持続的成長に必要な内部留保とのバランスを取りつつ、積極的・機動的なM&Aなどを通じて新たな成長投資に向けた資金配分を行い、今後も資本効率の良い経営を追求してまいります。



## 築き上げた基盤とグループ力を最大限に発揮し、新たな価値の創造に挑戦

国内外の事業環境は今、大きな変化の過渡期にあります。当社グループは、リゾート事業において蓄積してきた強み・事業基盤を活かして、新たな価値を創造し、より広いステージでお客様との新たな関係を築き上げることにより、成長をさらに加速させていきます。

当社HPに中期経営計画「Next40」の詳細を掲載しております。併せてご覧ください。

[http://www.resorttrust.co.jp/ir/investors/plan/pdf/keikaku\\_130401.pdf](http://www.resorttrust.co.jp/ir/investors/plan/pdf/keikaku_130401.pdf)

中期経営計画「Next40」では、国内リゾートクラブ事業における圧倒的優位性、約15万人(2013年4月時点)の富裕層会員、最先端メディカル事業のノウハウを活かし、さらなる成長に向けて、グループ力を最大限に発揮した事業の創造と確立を図ります。そして、3つの基本戦略を実現するため、人材基盤・グループ力の強化にも注力していきます。

1. 会員制リゾート事業のさらなる充実と持続モデルの確立
2. メディカル・シニアライフ事業の拡大
3. グループ総合力を活かした複合・周辺事業の拡大

### 人材基盤・グループ力の強化

### 5カ年定量計画

	(単位:億円)	
	2013/3 (実績)	2018/3 (中計5年目)
売上高・利益		
売上高	1,053	1,500
営業利益	120	240
経常利益	129	240
当期純利益	71	150
(指標)		
ROE	11.4%	15.7%
ROA	2.9%	6.1%

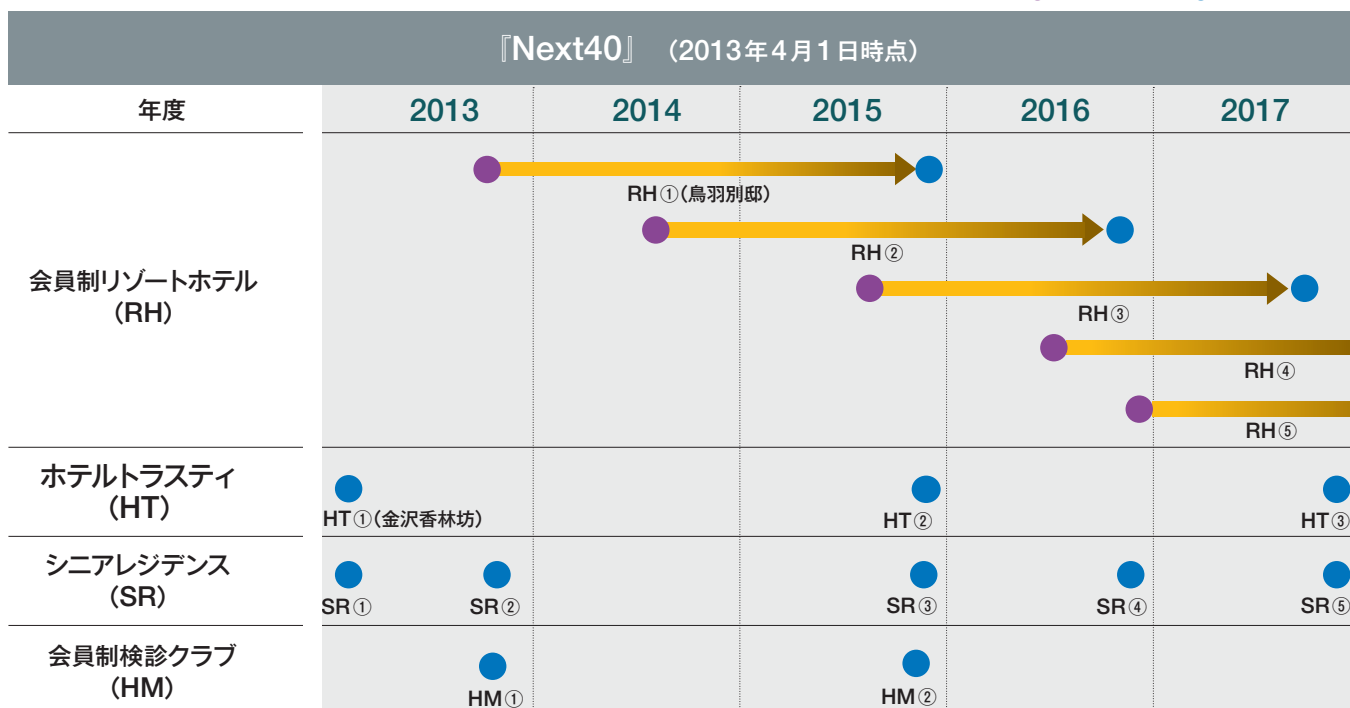
5カ年で利益倍増を目指す

### 各事業の目標

会員権事業	徹底した顧客ニーズの深掘りと、開発力・営業力の強化により、年5%以上の契約高成長を目指す
ホテルレストラン等事業	ライフサイクルモデルの確立に取り組み、ストック型ビジネスとしての持続的成長を目指す
ゴルフ事業	新たな顧客層の開拓とグループ事業との連携により、収益拡大を目指す
メディカル事業	早期発見から、予防、健康寿命の長期化まで、高いクオリティ・オブ・ライフを幅広くサポート
シニアライフ事業	クオリティ・オブ・ライフを重視した、健康年齢に応じたサービスの提供
複合・周辺事業	会員制リゾート事業で培った当社グループならではのホスピタリティを活かし、事業領域・顧客層・展開エリアを積極的に拡大

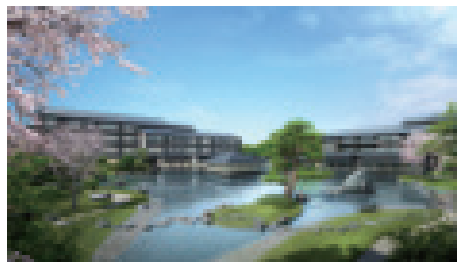
### 開発スケジュール

● 着工・販売開始 ● 開業/開設・取得



## 「Next40」の現況

### エキシブ初「日本の伝統美」を追求したリゾートホテル

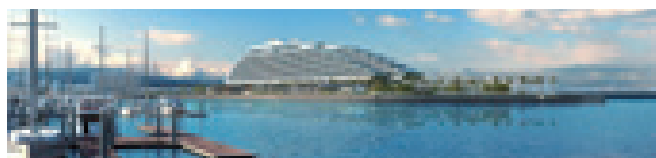


鳥羽別邸 主庭 イメージ

プロトとし、豪華で大胆かつ斬新な「エキシブ湯河原離宮」の会員権を販売し、ともに順調な売れ行きをみせています。

Japanese Traditionalをコンセプトとし、エキシブで初となる本格的な和空間を実現した「エキシブ鳥羽別邸」、琳派モダンをコンセプト

### 「芦屋ベイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート」販売開始



外観 イメージ

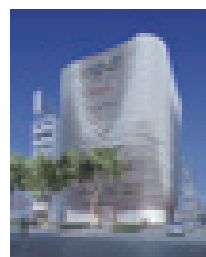
兵庫県芦屋市に建設する「芦屋ベイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート」の会員権を、2015年6月より販売を開始しました。当倶楽部は、完全会員制アーバンリゾートホテル「東京ベイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート」に続く“ベイコート倶楽部”2つ目の施設です。芦屋マリーナに隣接する当施設は開放感あふれる景観であり、「コンテンポラリー芦屋スタイル」をデザインコンセプトとして、白とブルーをテーマカラーとしたモダンラグジュアリーな空間をつくり上げます。

### 「ザ・カハラ・ホテル&リゾート」の運営



2014年10月、ハワイの高級リゾートホテル「ザ・カハラ・ホテル&リゾート」を取得しました。当社グループの今後の海外展開における重要な役割を担っていきます。

### ハイメディックの検診拠点を拡大



ハイメディック名古屋 外観 イメージ

2015年は「ハイメディック東京ベイ画像センター」を開業し(4月)、また「ハイメディック東京ベイ」の開設を控えています。2016年には「ハイメディック京大病院」及び「ハイメディック名古屋」の開設を予定しており、グランドハイメディック倶楽部の着実な拠点拡大を図っています。

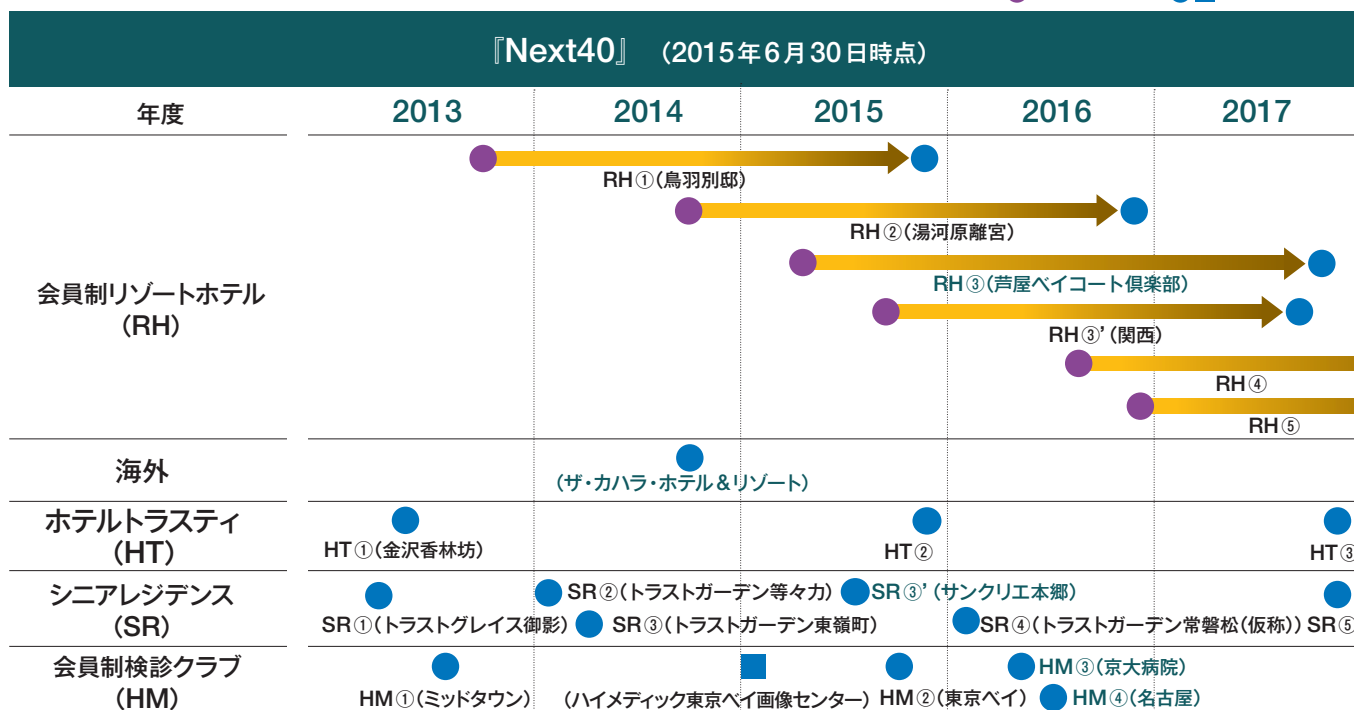
### シニアレジデンスの運営



トラストガーデン常磐松(仮称) 外観 イメージ

2014年4月開設の「トラストガーデン等々力」、2016年4月開設予定の「トラストガーデン常磐松(仮称)」は、当社が一から開発を手掛けています。ホテルレストラン事業やメディカル事業の実績を活かし、クオリティ・オブ・ライフの充実を図った施設運営を目指しています。

● 着工・販売開始 ● 開業/開設・取得



注) リリース外の計画については、「Next40」発表時の計画(p16下図)に準拠しております。

## 事業領域と沿革

リゾートトラストは、1973年、宝塚エンタープライズ(株)の設立(名古屋市)に始まります。翌年、第一号施設「ヴィア白川」(愛知県)と、「サンメンバーズひるがの」(岐阜県)を開業。その後、1986年にリゾートトラスト(株)に商号を変更し、1987年には、高級会員制ホテル「エクシブ」シリーズ第一号「エクシブ鳥羽」(三重県)を開業しました。



サンメンバーズひるがの



エクシブ鳥羽

以降、会員数を確実に増加させるとともに、リゾート業界を牽引してきました。現在は、会員制リゾートホテルの開発と運営で培ったノウハウを医療や介護の分野に活かし、事業領域の拡大を図っています。今後は、複合・周辺事業への展開を進め、さらなる成長に向けて事業を推進していきます。

### 会員権事業

東京、名古屋、大阪に近く利便性の高い、高級会員制リゾートホテルの開発と会員権の販売

### その他 1.3%

不動産の賃貸業務等

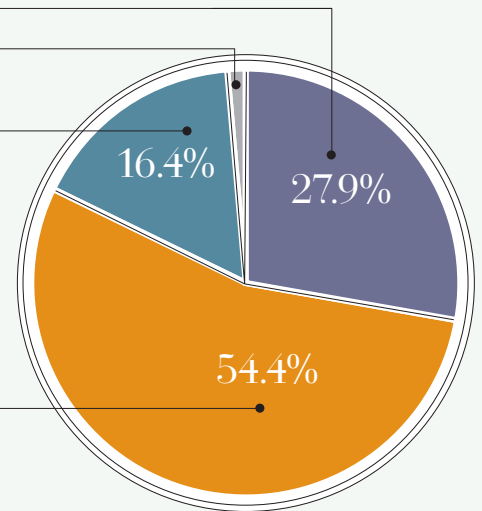
### メディカル事業

高品質な健康関連サービスを提供する総合メディカル事業及び有料老人ホームの運営

### ホテルレストラン等事業

本物志向の設備、料理、サービスを核とするホテル・レストランの運営

注) 2015年3月期よりセグメント区分を変更し、ゴルフ事業は、会員権事業と一部がホテルレストラン等事業に吸収されました。

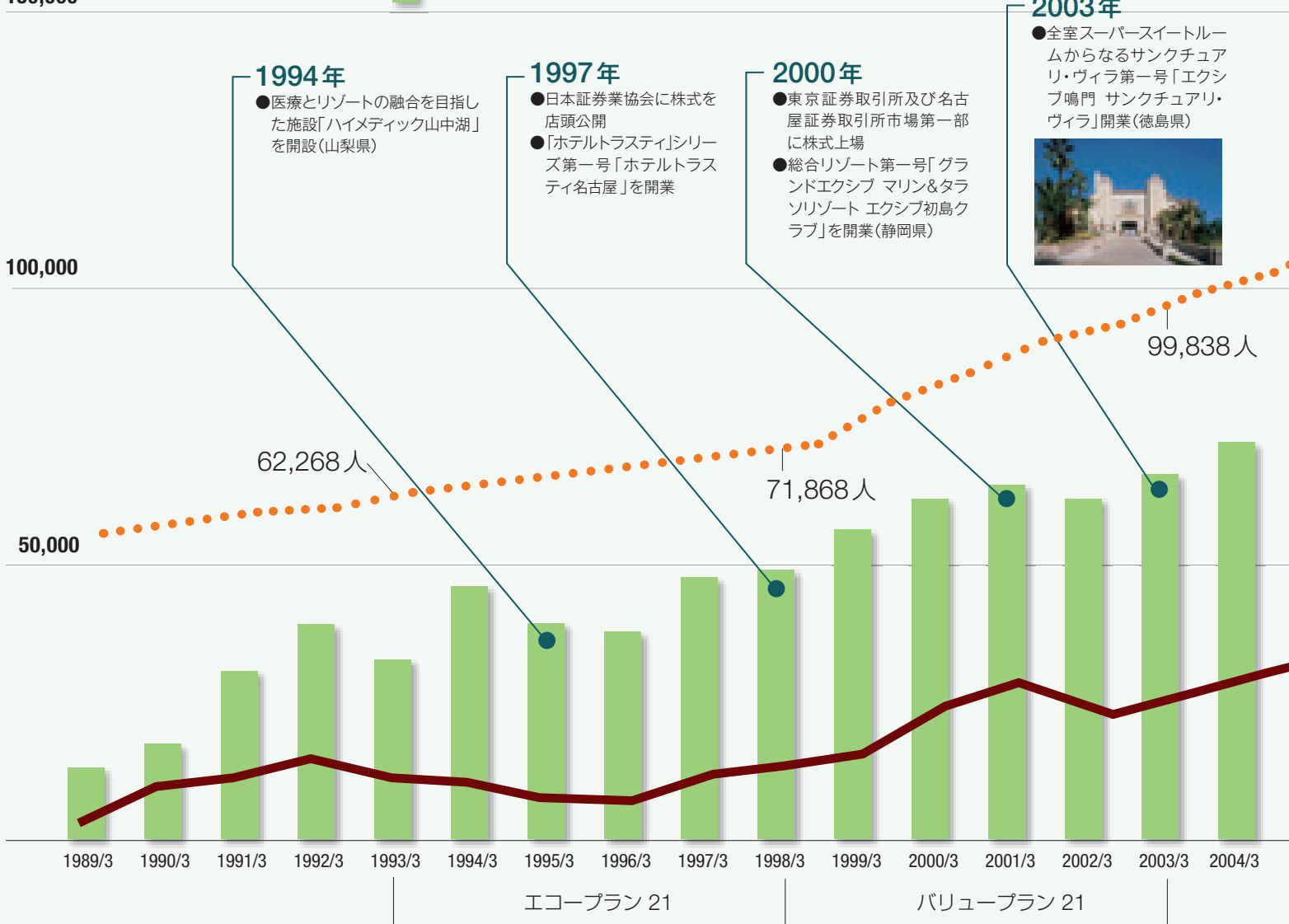


売上高構成比(2015年3月期)

売上高(百万円)

150,000

会員数 ●●●●● 売上高 ■ 営業利益 ■■



### 1994年

●医療とリゾートの融合を目指した施設「ハイメディック山中湖」を開業(山梨県)

### 1997年

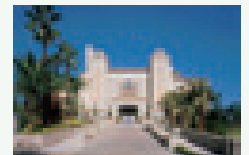
●日本証券業協会に株式を店頭公開  
●「ホテルトラスティ」シリーズ第一号「ホテルトラスティ名古屋」を開業

### 2000年

●東京証券取引所及び名古屋証券取引所市場第一部に株式上場  
●総合リゾート第一号「グランドエクシブ マリン&タラソリゾート エクシブ初島クラブ」を開業(静岡県)

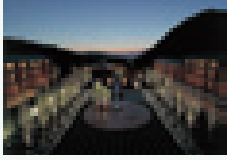
### 2003年

●全室スーパースイートルームからなるサンクチュアリ・ヴィラ第一号「エクシブ鳴門 サンクチュアリ・ヴィラ」開業(徳島県)

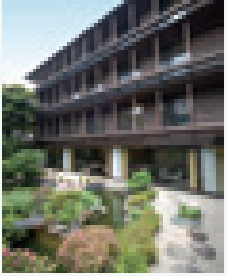


**2006年**

- 「離宮」シリーズ第一号「エクシブ京都 八瀬離宮」を開業



- 介護付有料老人ホーム「クラシックガーデン文京根津」(東京都)を取得



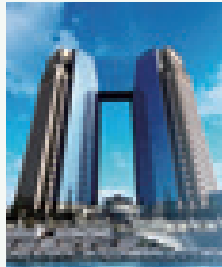
**2007年**

- 「東京ミッドタウンメディカルセンター」を開設



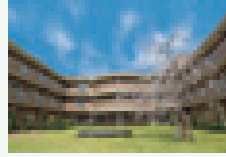
**2008年**

- 「東京ベイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート」を開業



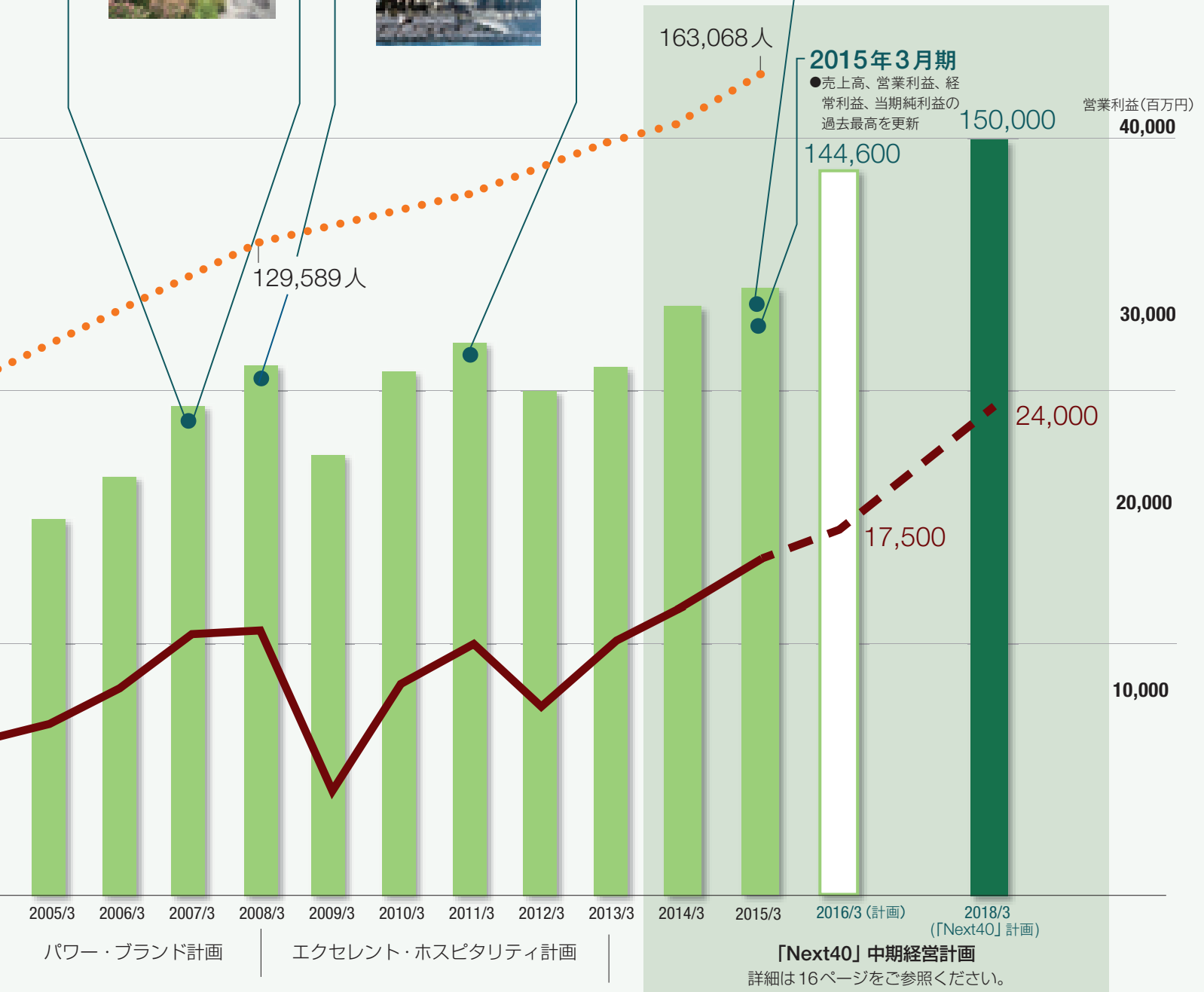
**2010年**

- トラストガーデン(株)を子会社化し、介護付有料老人ホーム「トラストガーデン」4施設を取得(東京都)



**2014年**

- 「ザ・カハラ・ホテル&リゾート」を取得(米国ハワイ州)



## 会員権事業

### 2015年3月期の業績

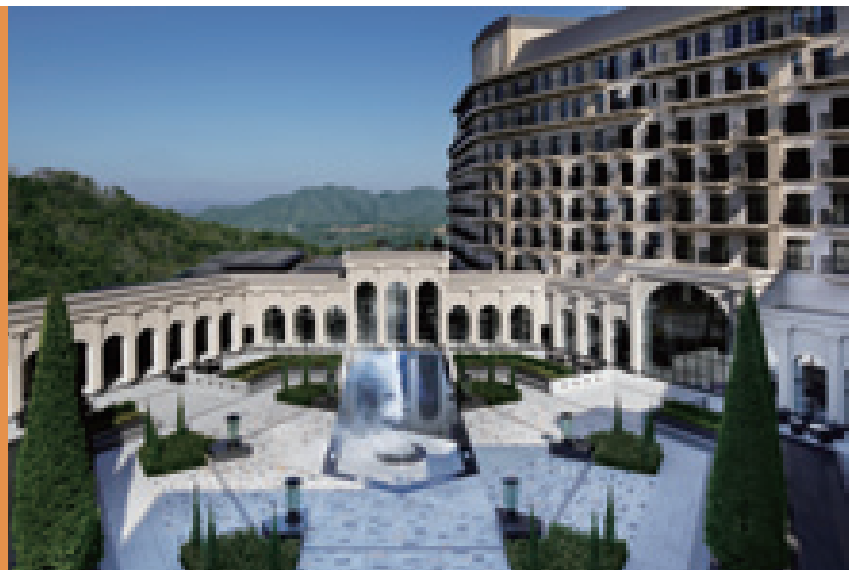
売上高は33,590百万円(前年同期比7.4%減)、営業利益は6,230百万円(同0.3%減)となりました。ホテル会員権の販売量が前年同期と比較し増加した一方で、未開業ホテルの「エクシブ鳥羽別邸」や「エクシブ湯河原離宮」の会員権収益の一部が開業まで繰り延べられることなどにより、減収減益となりました。



## ホテルレストラン等事業

### 2015年3月期の業績

売上高は65,462百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益は4,906百万円(同0.5%減)となりました。前年同期において、2013年4月にサンメンバーズリゾート施設「リゾートピア箱根」がリニューアルオープンし、また同年6月には「ホテルトラスティ」7施設目となる「ホテルトラスティ金沢 香林坊」が新規開業したことで開業関連費用がかかったのに対し、当期はこれらのホテルが収益に寄与しました。一方で、2014年10月に取得した米国ハワイ州の高級リゾートホテル「ザ・カハラ・ホテル&リゾート」に係る取得関連費用を計上したことなどにより、増収減益となりました。



## メディカル事業

### 2015年3月期の業績

売上高は19,746百万円(前年同期比13.9%増)、営業利益は4,287百万円(同14.2%増)となりました。シニアライフ事業の拡大により売上高が増加したほか、会員数の増加に伴い年会費収入が増加したことなどにより、増収増益となりました。



注) ・2015年3月期より会計方針の変更を行っているため、遡及処理後の数値で前年同期比較を行っております。

・報告セグメントの変更により、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

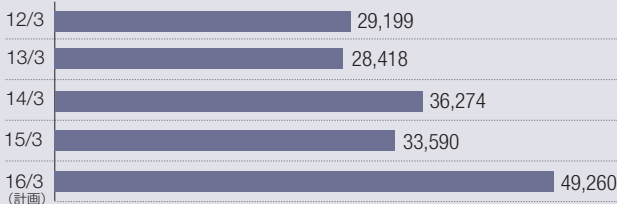
## トピックス

- 静岡県浜松市に新規ホテル用地を取得（2014年7月29日発表）
- 「エクシブ湯河原離宮」会員権販売開始（2014年10月8日）
- 「芦屋ベイコート倶楽部」会員権販売開始（2015年6月8日）

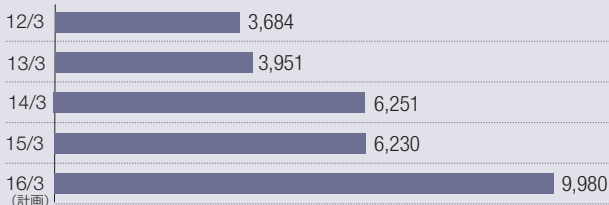
## 2016年3月期の見通し

主に「エクシブ鳥羽別邸」や「エクシブ湯河原離宮」、また未開業物件の会員権販売の増加を見込んでおります。これら未開業物件の不動産収益は、ホテル開業時まで繰り延べられる一方で、2016年3月に「エクシブ鳥羽別邸」が開業予定であり、それまで繰り延べられてきた不動産収益が一括収益計上されることなどにより、増収増益を見込んでおります。

## 売上高(百万円)



## 営業利益(百万円)



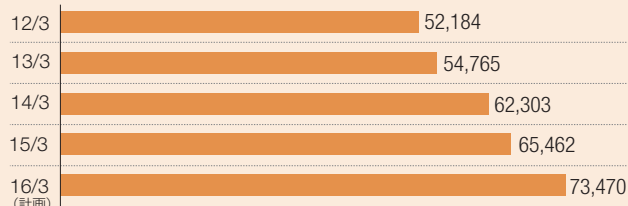
## トピックス

- 「メガソーラー那須白河」を運営開始（2014年4月1日）
- 米国ハワイ州の高級リゾートホテル「ザ・カハラ・ホテル&リゾート」の取得ならびに運営開始（2014年10月14日、現地時間）
- 「エクシブ鳥羽別邸」開業予定（2016年3月）

## 2016年3月期の見通し

当期に取得した「ザ・カハラ・ホテル&リゾート」の通期稼働や既存ホテルの稼働率向上が見込まれる一方で、「エクシブ鳥羽別邸」をはじめとした今後のホテルの新規開業に備えた人員体制の強化や採用、教育などに係る人件費等が先行費用として発生し、年会費収入や保証金償却収入は開業以降の計上になることなどにより、増収減益を見込んでおります。

## 売上高(百万円)



## 営業利益(百万円)



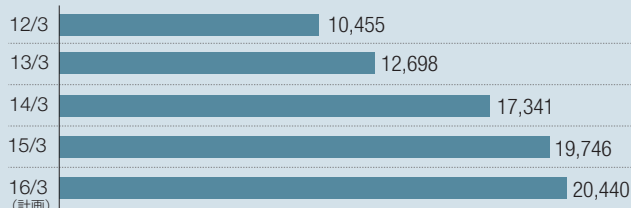
## トピックス

- 介護付有料老人ホーム「トラストガーデン等々力」開業（2014年4月1日）
- 京大病院「ハイメディック棟」での「ハイメディック京大病院」「ハイメディック名古屋」及び「ハイメディック東京ベイ画像センター」の新設予定を発表（2014年8月7日）
- 浙江国大集団有限責任公司（中国浙江省杭州市）と事業提携契約を締結（2014年12月5日）
- 「ハイメディック東京ベイ」2015年秋頃開設決定ならびに会員権販売開始（2015年6月15日）

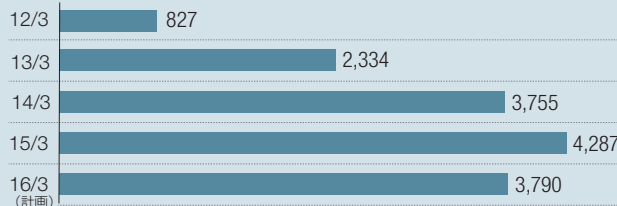
## 2016年3月期の見通し

総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員数増加に伴う年会費収入の増加のほか、事業拡大しているシニアレジデンスの稼働向上などにより増収となる一方で、検診体制充実のためなどの費用の増加及び会員権販売の減少などにより、増収減益を見込んでおります。

## 売上高(百万円)



## 営業利益(百万円)



TOKYO BAYCOURT CLUB  
HOTEL & SPA RESORT



東京ベイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート

大都市の中にありながら寛ぎと心の充足を提供する最上級のリラクゼーション・スペースとして誕生した「完全会員制アーバンリゾートホテル」です。

PRIVATE RESORT **XIV** エクシブ



エクシブ京都 八瀬離宮

「エクシブ」は、大都市から2～3時間で足を運べる著名な観光地という立地条件、ハイグレードな施設と「会員制ならではの」サービスが高い評価を得ています。

GRAND XIV



グランドエクシブ初島クラブ

「グランドエクシブ」はゴルフやスパ・エステ、マリンスポーツ、ウィンタースポーツなども楽しみたいという会員様の声から生まれた複合型リゾート施設です。

SANCTUARY VILLA

サンクチュアリ・ヴィラ



エクシブ鳴門 サンクチュアリ・ヴィラ ドゥーエ

「サンクチュアリ・ヴィラ」は静寂の中でゆっくり寛ぎたいといった会員様の声から生まれた、全室スーパースイートルームからなる施設です。

SUN MEMBERS



リゾーピア箱根

「サンメンバーズ」シリーズは、1974年より当社が初めて手掛けたホテルシリーズで、現在でも多様なニーズに応え、多くの方々からご愛顧いただいています。

HOTEL TRUSTY



ホテルトラステイ金沢 香林坊

「ホテルトラステイ」シリーズは「Stylish」、「Comfortable」、「Valuable」をコンセプトに、ゆったりとした客室とモダンな設計が特徴です。





ザ・カハラ・ホテル&リゾート

世界屈指のリゾート地ハワイオアフ島に建つ高級リゾートホテルです。創立50年以上の伝統を持ち、広く世界に知られたブランド力で数多くの著名人らが利用してきました。

## ゴルフコース



関西ゴルフ倶楽部

ジャック・ニクラウス、ビート・ダイ、ロバート・トレント・ジョーンズ Jr. などの一流設計者の手による、完全会員制のハイクオリティなゴルフクラブを全国で展開しています。

## メディカル施設



PET/CT



ハイメディック・東大病院

「ハイメディック山中湖」「ハイメディック大阪」「ハイメディック・東大病院」「ハイメディック・ミッドタウン」「ハイメディック東京ベイ画像センター」の5拠点を軸に、最高水準の総合メディカルネットワークで医療サービスを提供しています。

## シニアレジデンス



トラストガーデン用賀の杜



モーニングパーク主税町

「トラストガーデン用賀の杜」「クラシックガーデン文京根津」など介護付高級有料老人ホームは、医療ネットワークを備え充実したサービスを提供しています。

# リゾートトラスト ネットワーク

(2015年6月30日現在)

- エクシブ 25 施設 (開発中2施設含む)
- サンメンバーズ 13 施設
- ベイコート倶楽部 2 施設 (開発中1施設含む)
- 海外1施設
- ホテルトラスティ7施設
- ゴルフ場 13カ所
- メディカル施設 8カ所 (開発中3カ所含む)
- シニアレジデンス 13 施設 (開発中1施設、取得予定1施設含む)
- スキー場 1カ所

## 京都府

- エクシブ京都 八瀬離宮
- サンメンバーズ京都嵯峨
- リゾーピア久美浜
- ハイメディック京大病院 (開発中)

## 兵庫県

- エクシブ有馬離宮
- サンメンバーズ神戸
- ホテルトラスティ神戸 旧居留地
- トラストガーデン宝塚
- トラストグレイス御影 (一般棟/介護棟)
- 関西ゴルフ倶楽部
- エクシブ淡路島
- 芦屋ベイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート (開発中)

## 徳島県

- エクシブ鳴門
  - エクシブ鳴門 SV
  - エクシブ鳴門 SV ドゥーエ
  - グランディ鳴門ゴルフクラブ 36
- 「SV」:サンクチュアリ・ヴィラの略称

## 大分県

- リゾーピア別府

## 鹿児島県

- サンメンバーズ鹿児島

## 岐阜県

- サンメンバーズひるがの
- スプリングフィールドゴルフクラブ

## 滋賀県

- エクシブ琵琶湖
- ザ・カントリークラブ

## 大阪府

- サンメンバーズ大阪梅田
- ホテルトラスティ大阪 阿倍野
- ホテルトラスティ心斎橋
- ハイメディック大阪

## 和歌山県

- エクシブ白浜
- エクシブ白浜アネックス

## 奈良県

- オークモントゴルフクラブ

## 三重県

- グレイスヒルズカントリー倶楽部
- エクシブ鳥羽/エクシブ鳥羽アネックス/エクシブ鳥羽別邸 (開発中)

## 愛知県

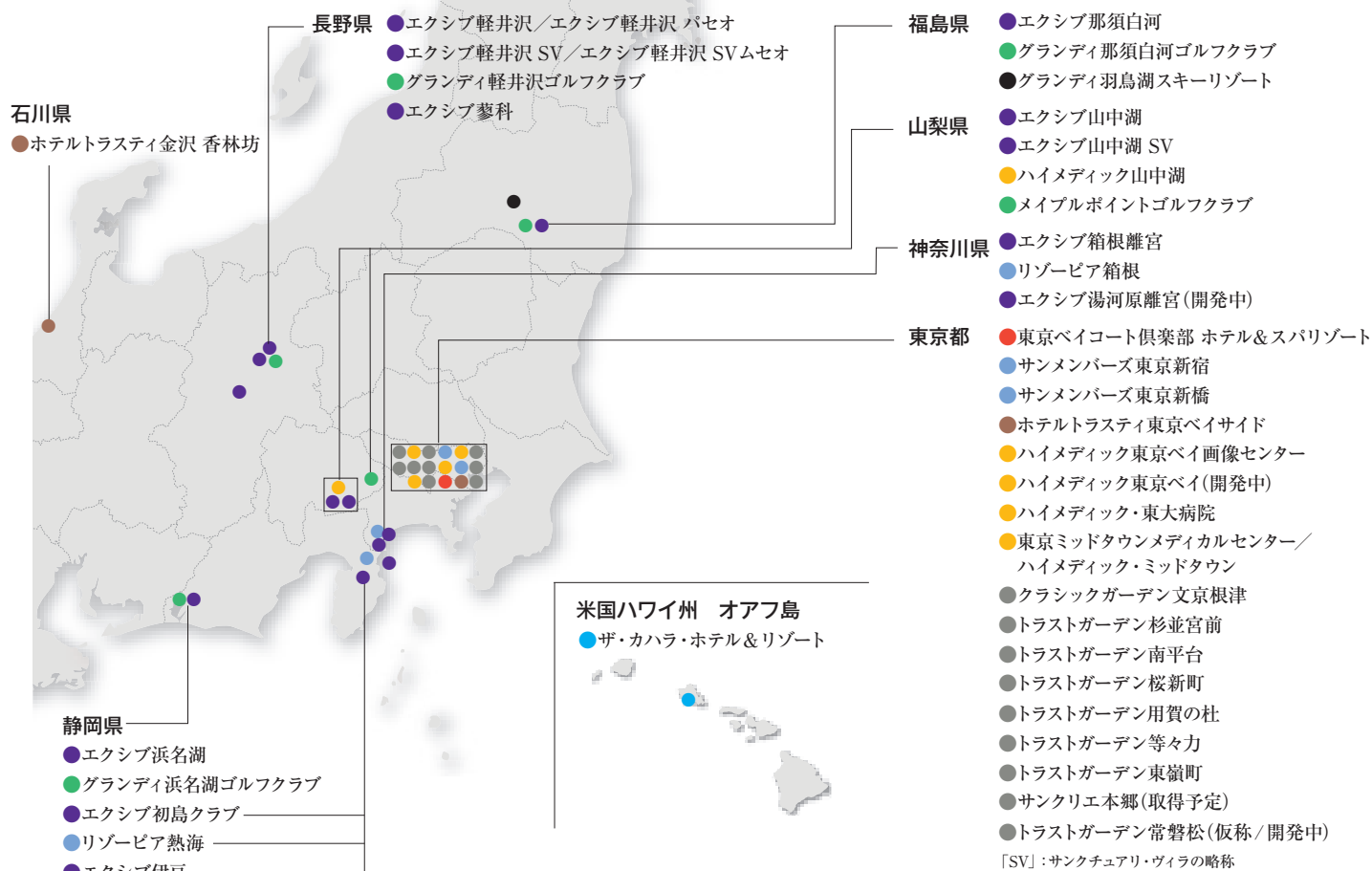
- ハイメディック名古屋 (開発中)
- パインズゴルフクラブ
- セントクリークゴルフクラブ
- ザ・トラディショナルゴルフクラブ
- サンメンバーズ名古屋白川
- サンメンバーズ名古屋錦
- ホテルトラスティ名古屋
- ホテルトラスティ名古屋 栄
- モーニングパーク主税町

## ホテル施設一覧

施設名	開業年	部屋数
<b>ベイコート倶楽部</b>		<b>292*</b>
東京ベイコート倶楽部	2008	292
芦屋ベイコート倶楽部 (開発中)	2018 (予定)	201
<b>エクシブ</b>		<b>3,257*</b>
エクシブ鳥羽	1987	207
エクシブ伊豆	1988	227
エクシブ白浜	1989	104
エクシブ軽井沢	1990	200
エクシブ鳥羽アネックス	1991	198
エクシブ淡路島	1992	109
エクシブ山中湖	1993	252
エクシブ白浜アネックス	1993	144
エクシブ琵琶湖	1997	268
エクシブ蓼科	1999	230

\*開発中物件含まず

エクシブ初島クラブ	2000	200
エクシブ鳴門	2001	135
エクシブ鳴門 サンクチュアリ・ヴィラ	2003	22
エクシブ浜名湖	2004	193
エクシブ軽井沢 サンクチュアリ・ヴィラ	2004	40
エクシブ那須白河	2005	58
エクシブ鳴門 サンクチュアリ・ヴィラ ドゥーエ	2005	22
エクシブ京都 八瀬離宮	2006	210
エクシブ山中湖 サンクチュアリ・ヴィラ	2009	28
エクシブ箱根離宮	2010	187
エクシブ有馬離宮	2011	175
エクシブ軽井沢 サンクチュアリ・ヴィラ ムセオ	2012	16
エクシブ軽井沢 パセオ	2012	32
エクシブ鳥羽別邸 (開発中)	2016 (予定)	121
エクシブ湯河原離宮 (開発中)	2017 (予定)	187



## シニアレジデンス施設一覧

施設名	開業年	部屋数
<b>サンメンバーズ</b>		<b>1,191</b>
サンメンバーズ名古屋白川	1974	87
サンメンバーズひるがの	1974	36
サンメンバーズ大阪梅田	1978	69
サンメンバーズ名古屋錦	1979	79
サンメンバーズ東京新橋	1980	23
サンメンバーズ鹿児島	1980	105
サンメンバーズ京都嵯峨	1980	67
サンメンバーズ東京新宿	1982	181
リゾーピア熱海	1983	206
リゾーピア久美浜	1984	57
リゾーピア別府	1984	57
リゾーピア箱根	1984	171
サンメンバーズ神戸	1985	53
<b>トラステイ</b>		<b>1,415</b>
ホテルトラステイ名古屋	1997	250
ホテルトラステイ名古屋 栄	2003	204
ホテルトラステイ心斎橋	2005	211
ホテルトラステイ東京ベイサイド	2008	200
ホテルトラステイ神戸 旧居留地	2009	141
ホテルトラステイ大阪 阿倍野	2012	202
ホテルトラステイ金沢 香林坊	2013	207
<b>海外</b>		<b>338</b>
ザ・カハラ・ホテル&リゾート	1964	338

施設名	部屋数907*
クラシックガーデン文京根津	51
モーニングパーク主税町	41
トラストガーデン杉並宮前	100
トラストガーデン南平台	41
トラストガーデン桜新町	86
トラストガーデン用賀の杜	129
トラストガーデン宝塚	89
トラストグレイス御影(一般棟)	218
トラストグレイス御影(介護棟)	63
トラストガーデン等々力	57
トラストガーデン東嶺町	32
サンクリエ本郷(2015年8月取得予定)	118
トラストガーデン常磐松(仮称/開発中/2016年予定)	50

\*取得予定物件と開発中物件含まず

## メディカル施設一覧

施設名	開業年
ハイメディック山中湖	1994
ハイメディック大阪	2005
ハイメディック・東大病院	2006
東京ミッドタウンメディカルセンター/ ハイメディック・ミッドタウン	2013
ハイメディック東京ベイ画像センター	2015
ハイメディック東京ベイ(開発中)	2015(予定)
ハイメディック京大病院(開発中)	2016(予定)
ハイメディック名古屋(開発中)	2016(予定)

## RTTG and Our Environment

### 環境経営

リゾート産業は、豊かな自然環境のもとで成り立ちます。当社グループは自然環境と景観の維持をリゾート開発における基本とし、開発時に木を伐採した場合には伐採本数以上の植樹を行うなど、グループを挙げて自然環境の維持・保全に努めています。

当社グループでは、2005年にCSR活動理念と方針を策定し、地球環境への貢献を目的として、2005年度からISO14001(環境マネジメントシステム規格)の認証取得・維持・継続活動に取り組んでいます。2015年3月末現在、主要な32カ所の事業所が取得しており、新たに3カ所の事業所で構築中です。(2015年6月認証取得予定)



### 環境設計、植樹活動、緑化事業

当社の施設は環境設計を採用しています。例えば、開発以前から生えていた樹木を植栽計画に採用しており、やむを得ず切るときには必ずそれ以上の植樹をすることで、緑豊かな環境づくりを行っています。エクシブ箱根離宮は、景観と樹木の保全を重視する観点から、植樹の移植・再移植を実施しました。

グランディ浜名湖ゴルフクラブでは、「クローズドシステム」を採用しています。これは、農薬はグリーンのみまき、農薬を含むグリーンにまいた水は外へ流さず地下の貯水槽にたまり、再びグリーンへ散水されるシステムで、ゴルフ場では全国で初めて当社が導入しました。



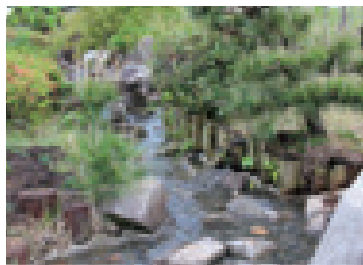
気候風土の変わらない土地へ仮移植して管理、育成

また、女子プロゴルフトーナメント「リゾートトラステレディス」は、毎年、入場券販売やチャリティイベントによる収益金の一部を開催地域の緑化事業発展のために寄贈しています。

### ごみ堆肥化リサイクルとホテルプロジェクト

熱海沖の初島にあるグランドエクシブ初島クラブでは、生ごみを堆肥に変えて処理するプラントを設置し、ごみの排出量削減と島内で消費される肥料代の抑制に寄与しています。

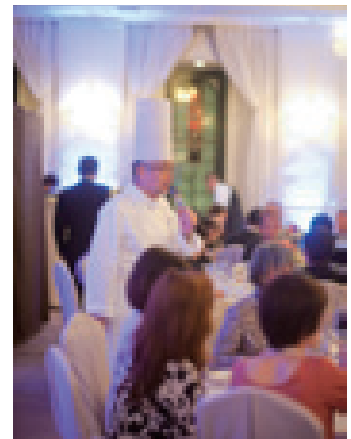
また、初島の自然環境構築のために、NPO法人「ホテルの会」協力のもと、敷地内にホテルが住みやすい環境をつくり、ホテルの放流を行っています。このホテル育成プロジェクトは2015年で4年目を迎えました。毎年のホテルの放流によりホテルが自然発生できるよう、全スタッフが整地整備に尽力しています。



グランドエクシブ初島クラブ敷地内の「ほたるの里」

### ホテルの料理で地産地消を推進

地産地消は、地元の旬の食材を新鮮なうちに提供する「美食」の追求だけでなく、食材の輸送にかかるエネルギー消費を抑え、地域の伝統的食文化の維持と継承にもつながることなどから、全リゾートホテルで積極的にこれに取り組んでいます。リゾートトラストは、農林水産省が推進する日本の食料自給率向上を目的とした「フード・アクション・ニッポン」の活動に賛同し、推進パートナーに登録しています。また、愛知県の農林水産部食育推進課が実施する「いいともあいち運動」のネットワーク会員にも登録しており、消費者と生産者がともに愛知県の農林水産業を支え、地産地消を推進する活動を支援しています。

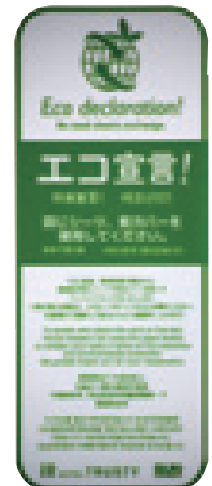


### エコ・ステイのご提案

ホテルトラスティシリーズや一部のエクシブでは、連泊のお客様にエコな宿泊をご提案しています。部屋の清掃やアメニティ、タオル、シーツなどの交換を不要とされた際には、ミネラルウォーターのプレゼントや環境保護団体(WWF ジャパン)への寄付などに換えて、環境に貢献しています。

また一部のホテルでは、ECOカード設置を開始し、シーツ・枕カバーを交換せずに行うベッドメイキングのご協力を仰いでいます。

ECOカード設置施設/ホテルトラスティ 東京ベイサイド、ホテルトラスティ名古屋、ホテルトラスティ名古屋 栄、サンメンバーズ東京新宿



# RTTG and Our Community

## 社会貢献活動

当社グループの事業活動は、お客様や社会との信頼関係の上に成り立っています。良き企業市民として信頼される企業であり続けるために、社会・福祉の発展に積極的に取り組んでいます。



### 「平成26年度ダイバーシティ経営企業100選」 (経済産業省)に選定

当社は、経済産業省主催の「平成26年度ダイバーシティ経営企業100選」に選定されました。「ダイバーシティ経営企業100選」は、多様な人材を活かし、その能力を最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげている企業を表彰し、多様なロールモデルが選定されています。

当社は、ダイバーシティを推進する取り組みとして、2006年から本格的に障がい者雇用の検討を開始しました。東京と名古屋の「事務支援センター」では、採用される人材が適切な仕事に就けるように考慮し、きめ細やかなサポート体制を構築しています。また、社内の各部署の事務作業などの仕事を切り出し、担当業務の創出と社内の業務の効率化を積極的に行いました。こうして、ある部門の労働時間の20%を低減し、従来外注していた業務の内製化などによる経費の削減も実現できました。さらに、ノーマライゼーション\*の考えのもと、健常者と障がい者が同じフロアで働き、互いに認め合い、相手の立場を思いやる風土などが醸成されてきたことが、当社が経営理念として追求する「エクセレント・ホスピタリティ・グループ」の実現に向け、社員が一丸となって取り組む姿勢として評価されました。

当社は今後も、障がい者や女性など、多様な人材が活躍できる企業を目指し、ダイバーシティ経営を推進していきます。



\*障がい者や高齢者など社会的に不利を受けやすい人々が、社会の中でほかの人々と同じように生活し活動することが、社会の本来あるべき姿であるという考え方。

### 「ESDユネスコ世界会議」支援活動実施

2014年11月、愛知県名古屋市で「持続可能な開発のための教育(ESD)」に関するユネスコ(国連教育科学文化機関)が主催する世界会議が開催され、当社は、パートナーシップ事業として登録し、主に環境・生物多様性に関する教育・育成啓発の面でさまざまな活動を行いました。具体的には、ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会への寄付(寄付支援)、営業車等への「ESDサポーターロゴマーク」添付による広報(広報支援)、当社ホテル等で「動物おりがみ教室」の開催による、お客様への周知と参加(参加支援)となります。

### 東日本大震災 被災地への支援活動

当社グループは、リゾートホテルや医療関連サービスなどホスピタリティ産業に携わる企業として、義援金や生活物資などの寄付を通じて、被災者の方々の支援を続けています。これまでに、震災孤児・遺児への寄付を目的とした愛知ボランティアセンターを通じて1,002名(2015年6月現在の寄付予定人数)に対して約1億5,000万円を支援しています。さらに、福島県への約1億円寄付などを実施しています。



### 地域活動

住む人や訪れる人が美しさや潤いを感じられる地域社会を目指しています。私たちが働く会社やホテル周辺の街を清掃する「まちピカ」、私たちが働くホテル周辺のリゾート地を清掃する「リゾートピカ」で、オフィスビルやホテル周辺の清掃活動を行っています。

清掃活動の一環として、グランドエクシブ鳴門では、地域の不法投棄物を撤去する活動に他企業とともに参加しました。エクシブ鳥羽&アネックスでは、ダイビングの海洋実習を行うビーチを感謝を込めて清掃しました。また、東京本社ではごみ分別表を作り、誰もが適切にごみを分別できるよう工夫しています。

グランドエクシブ軽井沢では、以前より清掃活動や高齢者を対象とした食事会をはじめ、さまざまなボランティア活動を行っています。この活動を軽井沢町社会福祉協議会より評価いただき、2011年から同協議会よりボランティアセンター運営委員に任命されています。



食事ボランティアでの折り紙

# コーポレート・ガバナンス

## コーポレート・ガバナンスの基本的考え方及び体制

当社は、すべてのステークホルダーから信頼される企業体制を構築するため、コーポレート・ガバナンスの充実及び強化を経営上の最重要課題として位置づけ、経営の透明性の向上及び効率性を確保し、経営環境の変化に対応できる組織体制により企業価値の増大に努めております。その一環として、当社は、本年6月26日開催の当社第42回定時株主総会の決議に基づき監査等委員会設置会社に移行し、監査等委員会は取締役の職務執行の監査・監督を実施します。これにより、株主総会の一層の活性化、取締役会的意思決定の迅速化及び監査等委員会による監督機能のより一層の強化等に取り組んでまいります。当社取締役会は、透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うことにより持続

的企業価値の向上を図り、適時・適切なガバナンス体制の構築・運用に努めてまいります。

### 経営意思決定及び執行の体制

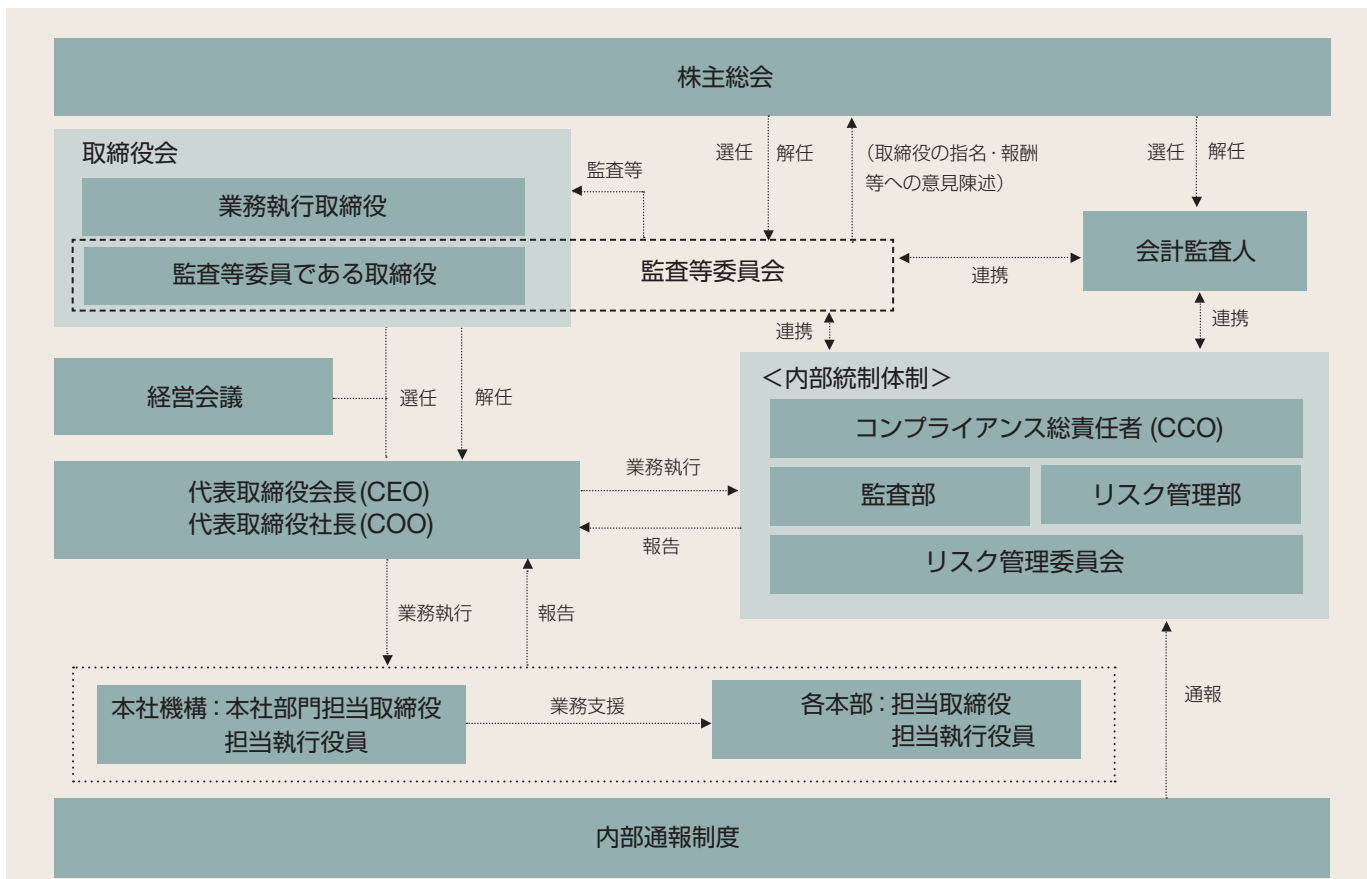
当社の取締役会は2015年6月末現在18名で構成され、毎月取締役会を開催しております。重要事項は、議案提出部署が毎月開催される経営会議に起案事項を付議し、さまざまな観点から議論を尽くし、その後定例取締役会において重要事項を審議し、決定いたします。また迅速かつ的確な経営及び執行判断を補佐するため、業務執行を担当する執行役員を選任し、より効率的かつ効果的な業務執行体制をとっております。

### 社外取締役

当社は、経営の意思決定機能と業務執行を監督する取締役会において、5名の監

査等委員を選任し、その内4名を社外取締役とすることで、業務執行取締役への監督機能を強化しております。監査等委員である社外取締役に期待される役割は、内部統制システムの構築・運用が適切に行われているか、取締役の職務執行が法令及び定款に適合して行われているか等、取締役会に対する経営全般の監督機能及びモニタリング機能を果たすことで、企業価値の持続的な向上に資することです。社外取締役の選任では、当社がその職責を十分に果たしうると判断するに足る「取締役の法令遵守や経営管理に対する監査・監督に必要な知識と経験を有すること」を選任の目安としております。

なお、社外取締役の当社からの独立性に関する当社独自の選定基準は制定されていないことから、取引所の「独立役員の独立性に関する判断基準」に則り、独立性の判断をしております。



## 経営監視の体制

監査等委員会は、社外取締役4名を含む業務を執行しない取締役5名で構成されています。同委員会は、監査方針及び計画を定め、取締役等から、定期的にその職務執行に関する事項の報告を受け、または聴取を行います。経営会議等社内の重要な会議には常勤監査等委員が出席しています。また、監査部の監査報告を受け、必要に応じて監査部に対し、監査の対象部門や重点監査項目等について指示いたします。監査等委員会は、会計監査人から、その監査計画及び監査の結果について報告及び説明を受け、これに基づき財務諸表監査及び内部統制監査の結果について検証いたします。また、会計監査人の品質管理体制についても報告及び説明を受け、その妥当性を検証いたします。

## 内部統制体制

当社は、会社法の規定などをベースに「内部統制の基本方針」を定めており、これに沿って社内規程の整備を図り、適正に運用しております。また、金融商品取引法に基づく「内部統制報告制度」への対応については、「財務報告に係る内部統制の整備・運用評価基本方針」や「財務報告に係る内部統制規程」を定めるとともに、監査部に内部統制担当を置き、財務報告に係る内部統制の信頼性を確保する体制の整備・運用を行っております。

内部監査及び内部統制担当部署である監査部は、社長直轄の組織として配置されております。業務監査と財務報告に係る内部統制の評価業務について、その結果を代表取締役社長に報告するとともに監査等委員会に報告の上、関係部署に対しても監査結果等を開示し、改善を求め内部統制の有効性向上を図っております。

リスク管理体制については、リスク管理部の他にリスク管理委員会を設置し、当社の経営に重要な影響を及ぼす可能性のあ

るリスクを識別し評価を行い、その結果を代表取締役社長に報告するとともに監査等委員会にも報告の上、改善を必要とする事項については関係部署に対して改善を指示しています。危機管理については、取締役会等の重要会議においてリスク対応策を決定し、危機管理体制の整備に努めております。

コンプライアンスについては、コンプライアンス宣言を行い研修や啓発活動を実施し、さらに、内部通報制度やホットライン制度を設け社内外からの通報を受け付ける体制を敷き、コンプライアンスが徹底されるよう努めております。

これらを確実かつ効率的に実践するため、コンプライアンス総責任者(CCO)及び専任部署であるリスク管理部を設置し、企業倫理に則った公正な事業活動及び法令遵守の徹底強化を図っております。

## 会計監査の状況

会計監査人(独立監査人)及び監査人については、現在、有限責任 あずさ監査法人(KPMGメンバーファーム)と監査契約を締結しており、同監査法人が会社法に基づく会計監査及び金融商品取引法に基づく内部統制監査を実施しております。

## 役員報酬等に関する方針

当社の役員報酬は、当社グループの持続的な成長と長期的な企業価値の拡大を目指し、各役員の動機づけがなされること、また、優秀な人材を経営者として確保可能な水準であることなどを基本方針として報酬を決定しております。なお、賞与やストック・オプションなどのインセンティブについては、会社業績向上への貢献度等の成果を総合的に考慮し決定しております。また、当社が定めた役員株式給付規程に基づき業績達成度等に応じて在任時にポイントを付与し、退任時に当該付与ポイント相当の株式を給付する役員株式所有

制度「株式給付信託(BBT)」を導入しております。報酬額については、定時株主総会で決議した年額の範囲内で、取締役会及び監査等委員である取締役の決議にて決定しております。

## 情報開示

「透明性、公正性の高い経営を目指し、積極的な開示を行うこと」を基本方針とし、適時開示規則、社内規定等に従い社内体制を整備し、情報の集約・管理・公表を行っております。

## 役員 2015年6月26日現在

代表取締役会長	伊藤 興朗
代表取締役社長	伊藤 勝康
取締役副社長	高浪 宣昭
取締役副社長	江幡 幸久
取締役副社長	河崎 信彦
専務取締役	伊藤 正昭
専務取締役	伏見 有貴
専務取締役	内山 敏彦
常務取締役	新谷 敦之
常務取締役	井内 克之
取締役	高木 直
取締役	川口 眞弘
取締役	荻野 重利
取締役 監査等委員	林戸 里巳
社外取締役 監査等委員	谷口 嘉孝
社外取締役 監査等委員	相羽 洋一
社外取締役 監査等委員	赤堀 聰
社外取締役 監査等委員	中谷 敏久

# ファクトシート

## 財務データ

### 経営成績(連結)

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
					(単位:百万円)
売上高	108,976	99,894	105,311	116,824	120,401
営業利益	13,172	9,891	12,054	15,190	16,041
経常利益	13,341	9,443	12,976	16,830	20,206
税金等調整前当期純利益	7,866	8,969	11,508	15,408	17,709
当期純利益	3,300	5,415	7,127	8,733	11,851
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,126	19,657	21,338	24,815	22,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,962	△ 15,546	△ 15,958	△ 33,747	△ 71,837
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,131	△ 3,351	11,447	22,179	60,359
現金及び現金同等物の期末残高	21,446	21,888	38,716	51,965	66,404
営業活動によるキャッシュ・フロー対売上高比率(%)	13.0	19.7	20.3	21.2	18.3
総資産	237,359	235,151	253,861	300,774	390,832
純資産	61,379	64,883	73,145	81,395	104,769

### セグメント別売上高\*

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
					(単位:百万円)
会員権事業	41,727	29,199	28,418	36,274	33,590
ホテルレストラン等事業	51,241	52,184	54,765	62,303	65,462
ゴルフ事業	7,235	7,607	8,671		
メディカル事業	8,473	10,455	12,698	17,341	19,746
その他	298	447	757	904	1,602
合計	108,976	99,894	105,311	116,824	120,401

### セグメント別営業利益\*

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
					(単位:百万円)
会員権事業	7,370	3,684	3,951	6,251	6,230
ホテルレストラン等事業	4,863	4,902	4,826	4,930	4,906
ゴルフ事業	156	249	617		
メディカル事業	571	827	2,334	3,755	4,287
その他	209	226	323	253	617
合計	13,172	9,891	12,054	15,190	16,041

\* 2014年4月1日付の組織変更に伴い、2015年3月期よりセグメント区分を変更し、ゴルフ事業は、会員権事業と一部がホテルレストラン等事業に吸収されました。前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

注) ・各会計年度は3月31日で営業期間が終了した年を表記しております。

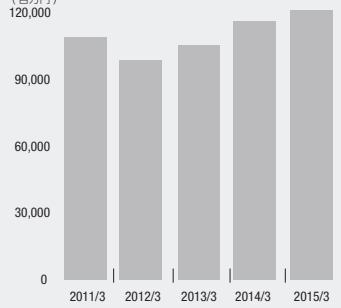
・記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表しております。

・2015年3月期より会計方針の変更を行っているため、2014年3月期については、遡及処理後の数値を記載しております。



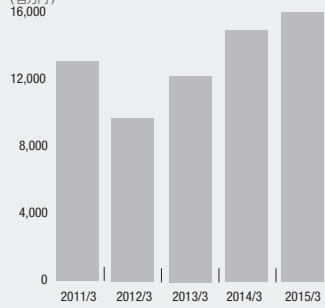
### 売上高

(百万円)



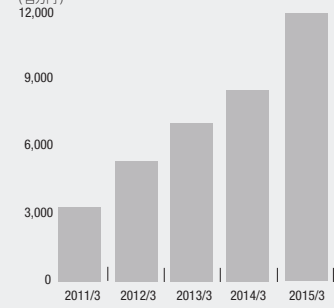
### 営業利益

(百万円)



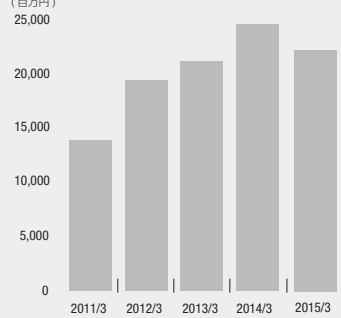
### 当期純利益

(百万円)



### 営業活動によるキャッシュ・フロー

(百万円)



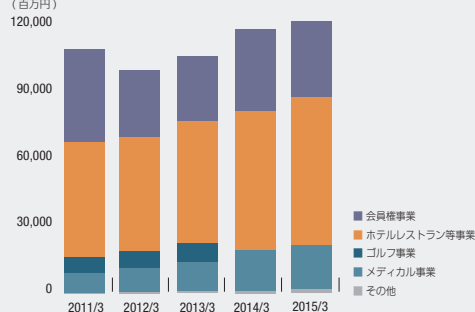
### 営業活動によるキャッシュ・フロー 対売上高比率

(%)



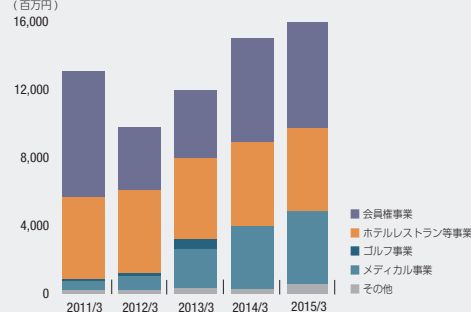
### セグメント別売上高

(百万円)



### セグメント別営業利益

(百万円)



## 財務データ

### 収益性指標(連結)

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
					(単位:%)
売上高営業利益率	12.1	9.9	11.4	13.0	<b>13.3</b>
売上高当期純利益率	3.0	5.4	6.8	7.5	<b>9.8</b>
総資産当期純利益率(ROA)	1.3	2.3	2.9	3.1	<b>3.4</b>
自己資本当期純利益率(ROE)	6.1	9.5	11.4	12.4	<b>13.6</b>

### 安全性指標(連結)

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
					(単位:%)
流動比率	219.2	255.0	324.0	234.7	<b>257.0</b>
固定長期適合比率*1	74.3	72.5	65.9	76.2	<b>71.7</b>
インタレスト・カバレッジ・レシオ*2(倍)	60.5	91.7	82.7	92.6	<b>43.9</b>
自己資本比率	23.0	25.0	26.1	24.7	<b>25.5</b>

\*1 固定長期適合比率 = 固定資産 / (自己資本 + 固定負債) × 100

\*2 インタレスト・カバレッジ・レシオ = 営業活動によるキャッシュ・フロー / 利息の支払い額

### 効率性指標(連結)

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
					(単位:倍)
総資産回転率*1	0.4	0.4	0.4	0.4	<b>0.4</b>
自己資本回転率	2.0	1.7	1.6	1.7	<b>1.4</b>
売上債権回転日数*2(日)	12.2	14.8	15.0	16.0	<b>18.2</b>
たな卸資産回転率	2.8	3.1	4.2	6.2	<b>6.3</b>

\*1 総資産回転率 = 売上高 / 総資産(期中平均)

\*2 売上債権回転日数 = (売掛金 + 受取手形) / (売上高 / 年間日数)

### 1株当たり情報(連結)

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
					(単位:円)
1株当たり当期純利益*1	35.68	57.97	75.38	89.71	<b>120.30</b>
1株当たり当期純利益(潜在株式調整後)*1	35.54	57.86	74.61	84.59	<b>108.69</b>
1株当たり純資産*2	585.92	628.19	686.85	758.35	<b>963.99</b>
1株当たり配当金*3	15.00	20.00	27.50	31.00	<b>43.00</b>
配当性向(%)	42.0	34.5	36.5	34.6	<b>35.7</b>

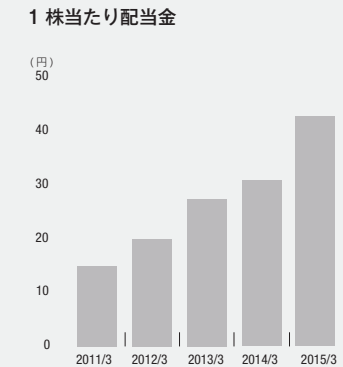
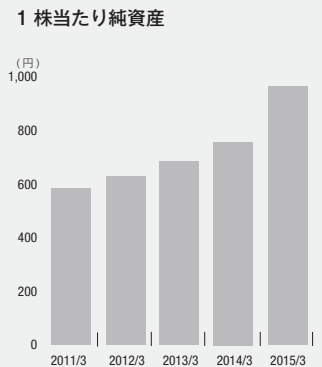
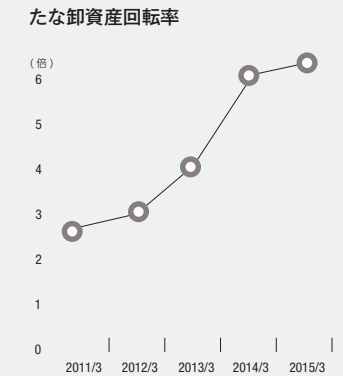
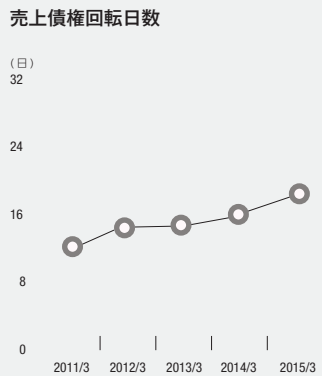
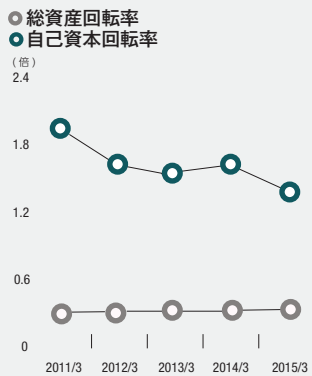
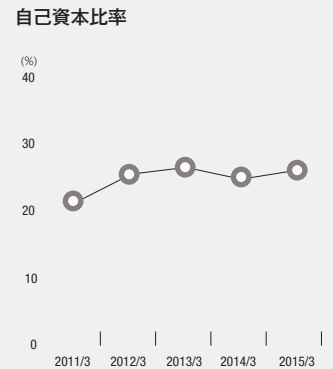
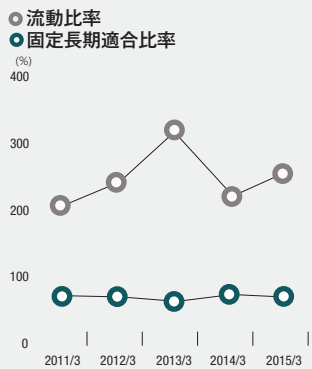
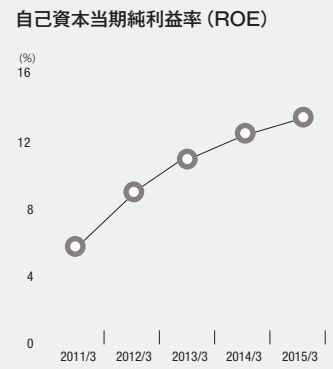
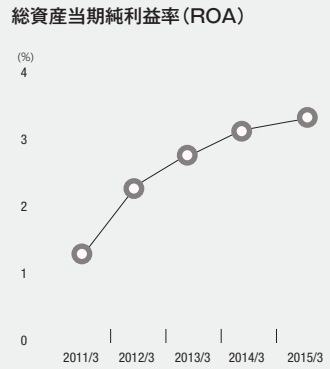
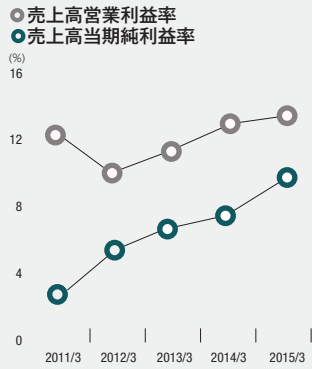
2014年1月1日をもって、当社株式を1株につき2株の割合で分割しております。

\*1 1株当たり当期純利益は、当該株式分割が各連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

\*2 1株当たり純資産は、当該株式分割が各連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

\*3 1株当たり配当金は、当該株式分割を考慮して遡及修正した数値を記載しております。

注) 1株当たり情報及び主な指標については、それぞれ小数点第3位、小数点第2位で四捨五入して表しております。



## 営業データ

### 会員数推移

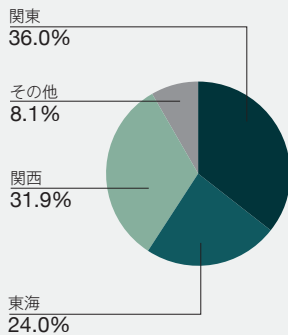
	2011/3		2012/3		2013/3		2014/3		2015/3		
	(単位:人)										
東京ベイコート倶楽部	会員数	6,286		7,095		8,209		8,424		8,493	
	法人	3,115	49.6%	3,589	50.6%	4,249	51.8%	4,533	53.8%	4,649	54.7%
	個人	3,171	50.4%	3,506	49.4%	3,960	48.2%	3,891	46.2%	3,844	45.3%
エクシブ	会員数	62,127		64,800		67,232		70,431		74,870	
	法人	25,787	41.5%	26,933	41.6%	28,070	41.8%	29,744	42.2%	32,308	43.2%
	個人	36,340	58.5%	37,867	58.4%	39,162	58.2%	40,687	57.8%	42,562	56.8%
サンメンバーズ	会員数	38,192		37,429		36,688		36,124		35,572	
クルーザークラブ	会員数	472		490		488		465		428	
ゴルフ	会員数	25,798		27,428		28,574		29,712		30,635	
ハイメディック	会員数	6,328		6,983		8,235		10,523		13,070	
グループ会員数合計		139,203		144,225		149,426		155,679		163,068	

### 会員権契約高推移

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
	(単位:百万円)				
ホテル会員権	36,381	33,378	32,879	39,764	46,624
メディカル会員権	2,486	4,476	5,010	5,404	5,689
ゴルフ会員権	1,259	1,959	2,505	2,105	1,208
クルーザークラブ会員権	58	54	89	160	172
合計	40,185	39,868	40,485	47,435	53,695

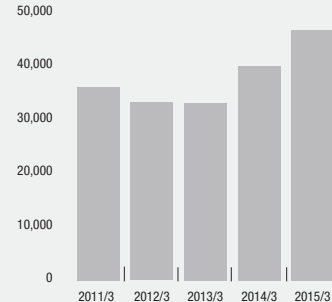
#### エクシブ会員の地域別割合

(2015年3月期)



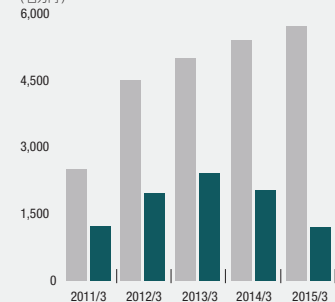
#### ホテル会員権契約高推移

(百万円)



#### メディカル会員権契約高推移 ゴルフ会員権契約高推移

(百万円)



## [ ホテルレストラン等事業 ]

### カテゴリ別売上高推移

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
	(単位:百万円)				
エクシブ	28,495	30,847	31,669	31,941	<b>32,360</b>
サンメンバーズリゾート	2,676	2,571	2,595	3,004	<b>3,178</b>
サンメンバーズシティ	1,326	1,277	1,341	1,487	<b>1,587</b>
トラスティ	3,178	3,134	3,884	4,764	<b>5,331</b>
ベイコート	3,112	3,281	3,727	4,095	<b>4,388</b>
運営管理費収入	5,614	6,061	6,338	6,562	<b>6,710</b>
保証金償却収入	2,351	2,710	2,808	2,916	<b>2,868</b>
その他収入	4,486	2,299	2,398	4,703	<b>6,101</b>
合計	51,241	52,184	54,765	62,303	<b>65,462</b>

### カテゴリ別室稼働率推移

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
	(単位:%)				
エクシブ	52.9	53.6	53.3	53.7	<b>54.0</b>
サンメンバーズリゾート	46.3	44.0	47.4	49.2	<b>50.9</b>
サンメンバーズシティ	69.3	68.4	70.8	76.0	<b>78.4</b>
トラスティ	83.5	83.2	85.7	87.1	<b>89.7</b>
ベイコート	32.3	35.9	41.4	48.3	<b>53.2</b>

### カテゴリ別宿泊者数推移

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
	(単位:人)				
エクシブ	1,684,580	1,775,623	1,816,934	1,816,269	<b>1,815,749</b>
サンメンバーズリゾート	210,715	202,599	211,552	232,721	<b>244,045</b>
サンメンバーズシティ	205,407	202,406	216,511	242,322	<b>252,856</b>
トラスティ	380,217	382,596	472,737	559,606	<b>603,412</b>
ベイコート	86,216	94,802	109,579	124,645	<b>135,201</b>
ホテル合計	2,567,135	2,658,026	2,827,313	2,975,563	<b>3,051,263</b>

### カテゴリ別消費単価推移

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
	(単位:円)				
エクシブ	16,915	17,373	17,430	17,586	<b>17,822</b>
サンメンバーズリゾート	12,701	12,693	12,270	12,912	<b>13,022</b>
サンメンバーズシティ	6,457	6,310	6,197	6,138	<b>6,279</b>
トラスティ	8,359	8,193	8,218	8,514	<b>8,835</b>
ベイコート	36,096	34,611	34,014	32,854	<b>32,458</b>

連結財務諸表  
連結貸借対照表

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
					(単位:百万円)
<b>資産の部</b>					
<b>流動資産</b>					
現金及び預金	14,514	22,950	29,443	46,151	53,687
受取手形及び売掛金	3,676	4,401	4,247	5,979	5,994
営業貸付金	26,313	24,296	23,423	23,305	27,448
有価証券	13,999	7,999	28,399	15,698	42,193
商品	352	400	470	610	728
販売用不動産	23,608	19,726	12,489	5,845	2,010
原材料及び貯蔵品	859	894	795	899	900
仕掛販売用不動産	9,949	8,080	7,374	8,985	18,497
繰延税金資産	4,640	4,359	4,283	4,033	3,714
その他	2,962	3,552	4,800	3,039	3,921
貸倒引当金	△ 829	△ 747	△ 1,715	△ 645	△ 773
流動資産合計	100,047	95,914	114,012	113,904	158,323
<b>固定資産</b>					
<b>有形固定資産</b>					
建物及び構築物(純額)	54,359	53,909	52,949	61,355	90,369
機械装置及び運搬具(純額)	2,338	2,009	1,739	2,146	1,769
コース勘定	12,337	12,245	11,036	11,036	9,563
土地	26,515	27,503	27,691	39,176	40,417
リース資産(純額)	2,933	2,817	2,665	2,538	2,506
建設仮勘定	1,287	1,788	2,144	2,303	4,007
その他(純額)	2,450	1,758	1,374	1,409	5,150
有形固定資産合計	102,223	102,032	99,601	119,967	153,784
<b>無形固定資産</b>					
のれん	292	237	268	359	231
その他	3,541	3,205	2,874	2,744	3,120
無形固定資産合計	3,833	3,442	3,142	3,104	3,351
<b>投資その他の資産</b>					
投資有価証券	10,742	16,395	21,954	49,889	60,805
関係会社株式	1,893	1,315	1,219	1,592	1,603
長期貸付金	3,592	3,443	1,393	1,357	1,428
退職給付に係る資産	—	—	—	225	1,348
繰延税金資産	2,133	1,699	1,708	1,441	123
その他	19,221	19,143	17,370	15,773	16,452
貸倒引当金	△ 6,317	△ 8,233	△ 6,540	△ 6,483	△ 6,390
投資損失引当金	△ 10	—	—	—	—
投資その他の資産合計	31,254	33,763	37,104	63,797	75,372
固定資産合計	137,311	139,237	139,849	186,869	232,508
資産合計	237,359	235,151	253,861	300,774	390,832

2011/3 2012/3 2013/3 2014/3 2015/3  
(単位:百万円)

## 負債の部

### 流動負債

支払手形及び買掛金	642	881	893	913	1,096
短期借入金	2,110	—	150	750	5,000
1年内返済予定の長期借入金	9,869	8,976	8,127	7,089	6,663
1年内償還予定の社債	1,924	2,800	1,100	1,675	450
リース債務	477	511	526	438	369
未払金	13,109	8,200	6,558	12,752	9,301
未払法人税等	2,398	2,289	2,483	4,594	4,482
未払消費税等	371	739	877	664	2,602
前受金	810	807	744	3,354	13,304
その他	13,939	12,403	13,725	16,292	18,325
流動負債合計	45,652	37,610	35,186	48,523	61,595

### 固定負債

社債	5,175	3,375	3,775	2,100	4,150
新株予約権付社債	—	—	—	15,064	35,558
長期借入金	10,786	13,584	27,310	37,893	67,211
リース債務	3,272	2,929	2,564	2,385	2,367
繰延税金負債	2,243	1,616	1,060	1,072	1,639
退職給付引当金	849	1,237	778	—	—
役員退職慰労引当金	1,447	1,516	1,574	1,997	2,102
株式給付引当金	—	—	99	158	458
退職給付に係る負債	—	—	—	1,038	860
長期預り保証金	103,772	104,762	105,161	103,924	103,154
負ののれん	945	825	704	583	462
その他	1,833	2,810	2,502	4,636	6,500
固定負債合計	130,326	132,657	145,529	170,855	224,466
負債合計	175,979	170,268	180,716	219,378	286,062

## 純資産の部

### 株主資本

資本金	14,258	14,258	14,258	14,258	16,977
資本剰余金	13,906	13,906	13,906	14,653	19,984
利益剰余金	35,016	38,772	43,391	48,983	57,807
自己株式	△ 8,369	△ 8,035	△ 5,679	△ 4,971	△ 2,705
株主資本合計	54,811	58,901	65,877	72,923	92,062

### その他の包括利益累計額

その他有価証券評価差額金	△ 198	△ 92	395	1,306	4,742
為替換算調整勘定	—	—	—	—	2,671
退職給付に係る調整累計額	—	—	—	159	257
その他の包括利益累計額合計	△ 198	△ 92	395	1,465	7,670
新株予約権	366	544	287	133	57
少数株主持分	6,400	5,529	6,585	6,872	4,978
純資産合計	61,379	64,883	73,145	81,395	104,769
負債純資産合計	237,359	235,151	253,861	300,774	390,832

## 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

### 連結損益計算書

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
					(単位:百万円)
売上高	108,976	99,894	105,311	116,824	120,401
売上原価	28,247	19,221	19,994	21,383	18,051
売上総利益	80,728	80,672	85,316	95,440	102,350
販売費及び一般管理費	67,556	70,780	73,261	80,250	86,308
広告宣伝費	981	1,245	1,197	1,379	1,526
会員サービス費	718	825	599	715	984
修繕維持費	2,646	2,578	3,108	3,763	3,395
リネン費	2,997	3,012	3,150	3,226	3,327
従業員給料・賞与及び役員報酬	25,749	27,848	29,103	32,197	35,212
減価償却費	5,681	5,723	5,129	5,218	5,586
その他販管費	28,780	29,544	30,972	33,750	36,276
営業利益	13,172	9,891	12,054	15,190	16,041
営業外収益	808	1,999	1,700	2,405	5,752
受取利息・受取配当金	324	378	626	883	1,712
その他営業外収益	483	1,620	1,073	1,521	4,040
営業外費用	639	2,447	778	765	1,588
支払利息及び社債利息	236	211	256	274	510
その他営業外費用	402	2,236	521	490	1,077
経常利益	13,341	9,443	12,976	16,830	20,206
特別利益	668	892	243	123	632
特別損失	6,142	1,366	1,710	1,544	3,129
税金等調整前当期純利益	7,866	8,969	11,508	15,408	17,709
法人税、住民税及び事業税	5,493	4,955	4,936	6,817	7,748
法人税等調整額	△ 744	2	△ 763	△ 72	194
法人税等合計	4,749	4,958	4,173	6,745	7,943
少数株主損益調整前当期純利益	3,117	4,011	7,335	8,663	9,766
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 183	△ 1,403	208	△ 70	△ 2,084
当期純利益	3,300	5,415	7,127	8,733	11,851

### 連結包括利益計算書

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
					(単位:百万円)
少数株主損益調整前当期純利益	3,117	4,011	7,335	8,663	9,766
その他の包括利益					
その他有価証券評価差額金	△ 456	106	495	911	3,435
為替換算調整勘定	—	—	—	—	2,671
退職給付に係る調整額	—	—	—	—	98
その他の包括利益合計	△ 456	106	495	911	6,205
包括利益	2,660	4,118	7,830	9,574	15,971
(内訳)					
親会社株主に係る包括利益	2,843	5,521	7,615	9,644	18,056
少数株主に係る包括利益	△ 182	△ 1,403	215	△ 70	△ 2,084



## 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2013年4月1日 至 2014年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				新株予 約権	少数株 主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰 余金	利益剰 余金	自己 株式	株主資 本合計	その他 有価証 券評価 差額金	為替換 算調整 勘定	退職給 付に係 る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額 合計			
当期首残高	14,258	13,906	43,391	△ 5,679	65,877	395	—	—	395	287	6,585	73,145
会計方針の変更による累積的影響額			△ 188	218	30							30
会計方針の変更を反映した当期首残高	14,258	13,906	43,203	△ 5,461	65,907	395	—	—	395	287	6,585	73,175
当期変動額												
新株の発行					—							—
剰余金の配当			△ 2,953		△ 2,953							△ 2,953
当期純利益			8,733		8,733							8,733
自己株式の取得				△ 11	△ 11							△ 11
自己株式の処分		746		500	1,247							1,247
連結範囲の変動					—							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						910	—	159	1,070	△ 153	287	1,203
当期変動額合計	—	746	5,780	489	7,016	910	—	159	1,070	△ 153	287	8,219
当期末残高	14,258	14,653	48,983	△ 4,971	72,923	1,306	—	159	1,465	133	6,872	81,395

当連結会計年度(自 2014年4月1日 至 2015年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				新株予 約権	少数株 主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰 余金	利益剰 余金	自己 株式	株主資 本合計	その他 有価証 券評価 差額金	為替換 算調整 勘定	退職給 付に係 る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額 合計			
当期首残高	14,258	14,653	48,983	△ 4,971	72,923	1,306	—	159	1,465	133	6,872	81,395
会計方針の変更による累積的影響額			818		818							818
会計方針の変更を反映した当期首残高	14,258	14,653	49,802	△ 4,971	73,742	1,306	—	159	1,465	133	6,872	82,213
当期変動額												
新株の発行	2,719	2,719			5,438							5,438
剰余金の配当			△ 3,613		△ 3,613							△ 3,613
当期純利益			11,851		11,851							11,851
自己株式の取得				△ 5	△ 5							△ 5
自己株式の処分		2,611		2,271	4,882							4,882
連結範囲の変動			△ 232		△ 232							△ 232
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						3,435	2,671	98	6,205	△ 76	△ 1,893	4,235
当期変動額合計	2,719	5,330	8,004	2,265	18,320	3,435	2,671	98	6,205	△ 76	△ 1,893	22,556
当期末残高	16,977	19,984	57,807	△ 2,705	92,062	4,742	2,671	257	7,670	57	4,978	104,769

## 連結キャッシュ・フロー計算書

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
					(単位:百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,126	19,657	21,338	24,815	<b>22,057</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,962	△ 15,546	△ 15,958	△ 33,747	△ <b>71,837</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,131	△ 3,351	11,447	22,179	<b>60,359</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 0	0	1	<b>3,859</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 10,967	759	16,828	13,248	<b>14,439</b>
現金及び現金同等物の期首残高	31,592	21,446	21,888	38,716	<b>51,965</b>
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	821	△ 317	—	—	—
現金及び現金同等物の期末残高	21,446	21,888	38,716	51,965	<b>66,404</b>

## 連結子会社一覧

(2015年3月31日)

会社名	事業内容	資本金(百万円)	議決権所有割合(%)
株式会社ジェス	清掃業務等	10	100
株式会社サンホテルエージェンツ	損害保険代理業務	10	100 (100)
サンズ株式会社	施設相互利用システムの提供業務	10	100 (45)
株式会社コンプレックス・ビズ・インターナショナル	ヘアアクセサリ等の製造・販売及びトータルビューティー事業	50	100
RESORTTRUST HAWAII, LLC	ホテルの経営	2億米ドル	100
RTCC株式会社	海外リゾート交換利用と国内リゾート予約の受託	50	100
リゾートトラストゴルフ事業株式会社	ゴルフ場の運営及びゴルフ会員権の販売	100	100
株式会社ハイメディック	メディカル会員権の販売及びその管理業務	300	100
株式会社東京ミッドタウンメディスン	医療施設経営に対するコンサルティング事業	100	66.5 (66.5)
株式会社アドバンス・メディカル・ケア	医療施設経営に対するコンサルティング事業	100	89.8 (89.8)
トラストガーデン株式会社	居宅介護サービス事業	50	100
トラストグレイス株式会社	居宅介護サービス事業	100	95
トラストガーデン宝塚株式会社	居宅介護サービス事業	30	100
アール・ティー開発株式会社	不動産賃貸等	100	100
ジャストファイナンス株式会社	金銭貸与	10	100
バスクレジット株式会社	金銭貸与	10	100
アール・エフ・エス株式会社	当社関係会社における経理総務業務	10	100
株式会社メイプルポイントゴルフクラブ	ゴルフ場の運営及びゴルフ会員権の販売	100	8.3 (0.2) [40.1]
株式会社オークモントゴルフクラブ	ゴルフ場の運営及びゴルフ会員権の販売	100	6.9 (0.1) [34.8]
株式会社関西ゴルフ倶楽部	ゴルフ場の運営及びゴルフ会員権の販売	100	100 (100)

(内書): 間接所有割合

[外書]: 緊密な者等の所有割合

# 会社情報

(2015年3月31日)

**社名** リゾートトラスト株式会社  
(RESORTTRUST, INC.)  
URL <http://www.resorttrust.co.jp/>

**東京本社** 〒151-0053  
東京都渋谷区代々木四丁目36番19号  
リゾートトラスト東京ビル  
Tel (03)6731-0001 (大代表)

**本社** 〒460-8490  
名古屋市中区東桜二丁目18番31号  
Tel (052)933-6000 (大代表)

**創業** 1973年4月  
**資本金** 169億7,736万円  
**従業員数** 5,287名(連結・正社員)  
**決算期** 3月(年1回)

## 株式情報

(2015年3月31日)

### 株主情報

**上場証券取引所** 東京・名古屋(第一部)  
**発行可能株式総数** 150,000,000株  
**発行済株式総数** 106,014,756株  
**株主数** 18,078名

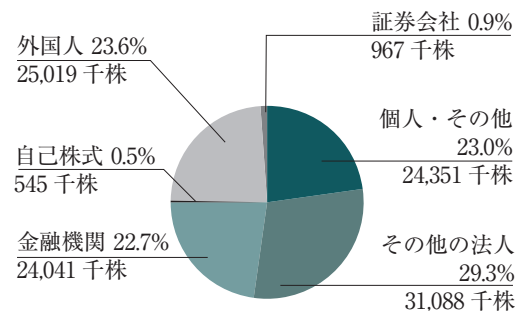
### 株主優待

**権利確定** 3月、100株以上  
**優待内容** レストラン割引券(30%、50%割引)  
レストラン飲食または「ホテルトラステイ」  
シリーズ宿泊で利用可能  
(割引金額に上限有り)

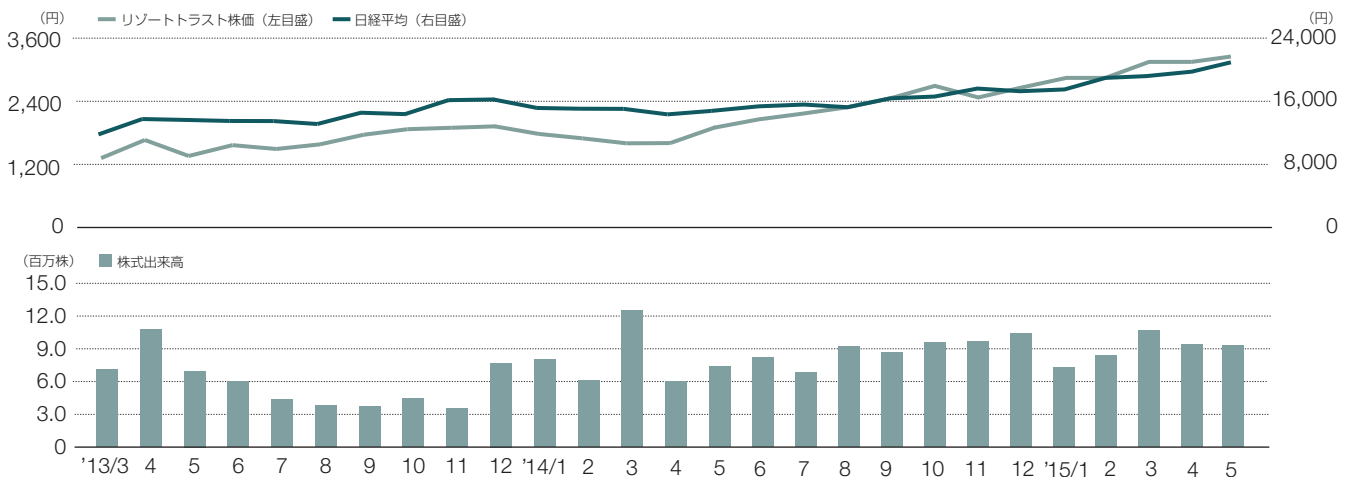
### 大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社宝塚コーポレーション	13,419	12.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,452	5.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,383	3.2
サッポロビール株式会社	3,351	3.2
伊藤興朗	2,922	2.8
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	2,009	1.9
CBLDN STANDARD LIFE ASSURANCE LIMITED-PENSION FUNDS	2,008	1.9
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,872	1.8
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/ ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS	1,792	1.7
株式会社エヌ・コーポレーション	1,745	1.6

### 所有者別株式数



### 株価及び出来高の推移



<http://www.resorttrust.co.jp/>